

## (9) 身近な消費生活相談窓口を案内する全国共通の電話番号「消費者

### ホットライン 188(イヤヤ)を知っているか。

【問 13-2】

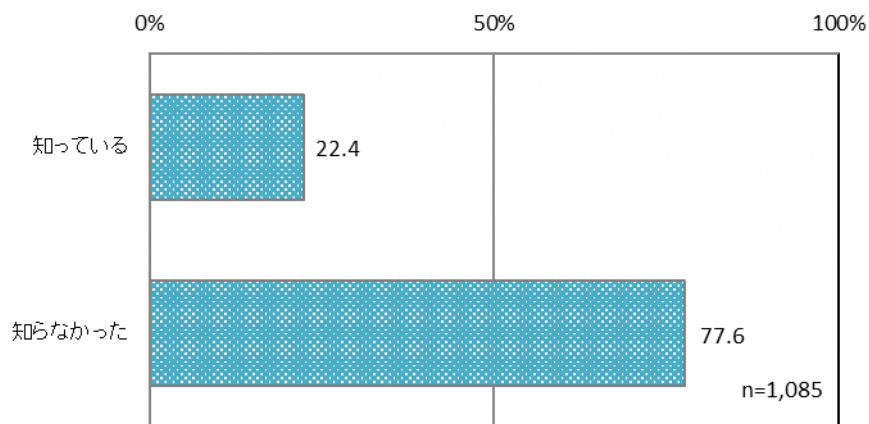
全体では、「知らなかった」(77.6%)が「知っている」(22.4%)を上回っている。

性別では、男女ともに「知らなかった」が最も高く、「知っている」は女性が男性を3ポイント上回っている。

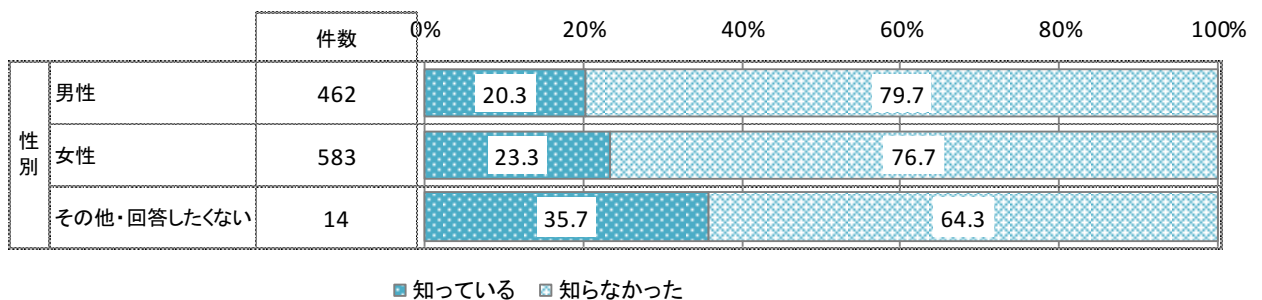
年齢別では、「知っている」は18～19歳、75歳以上が3割台と高く、「知らなかった」は20～74歳が7割以上と高くなっている。

地区別では、傾向に目立った差異はない。

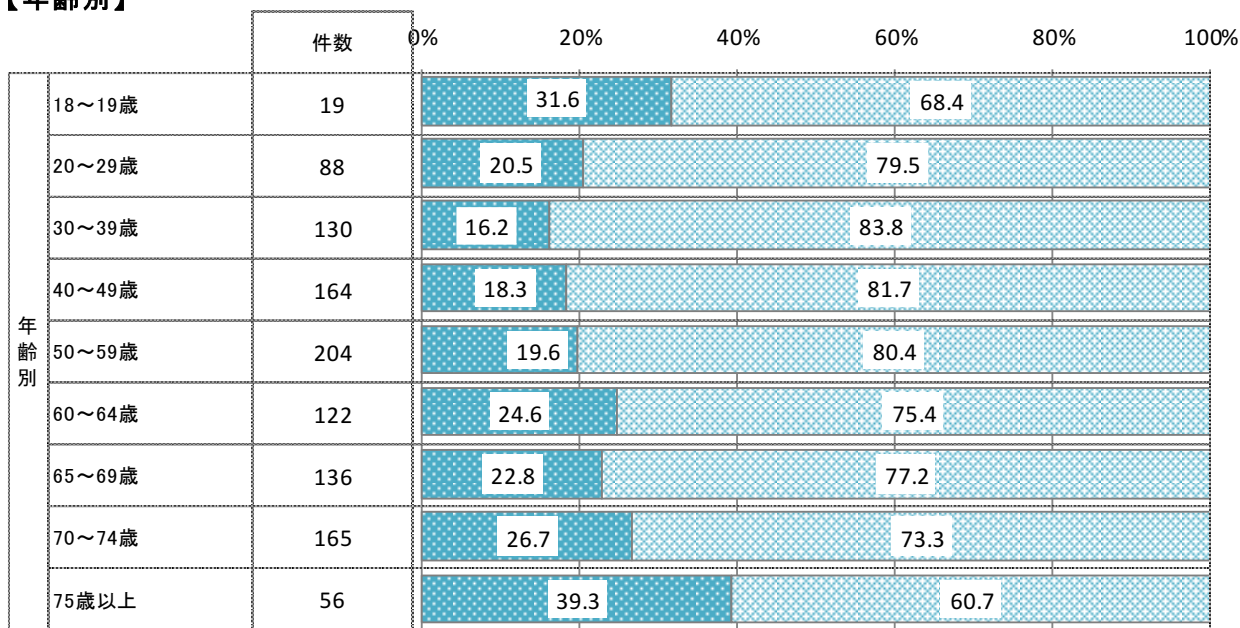
#### 【全体】



#### 【性別】

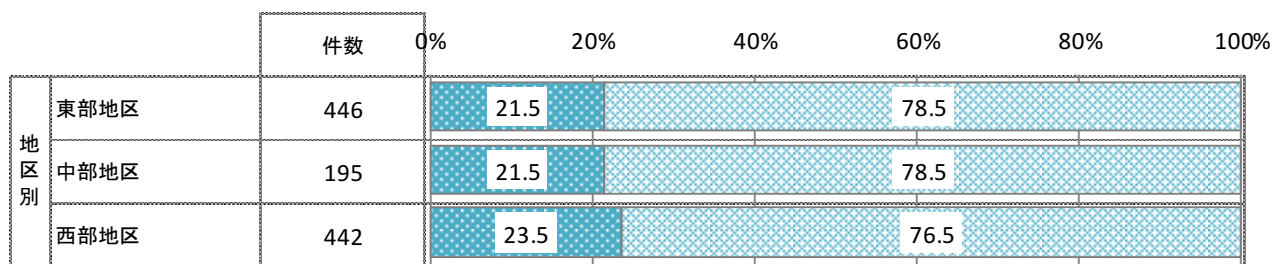


【年齢別】



■知っている □知らなかった

【地区別】



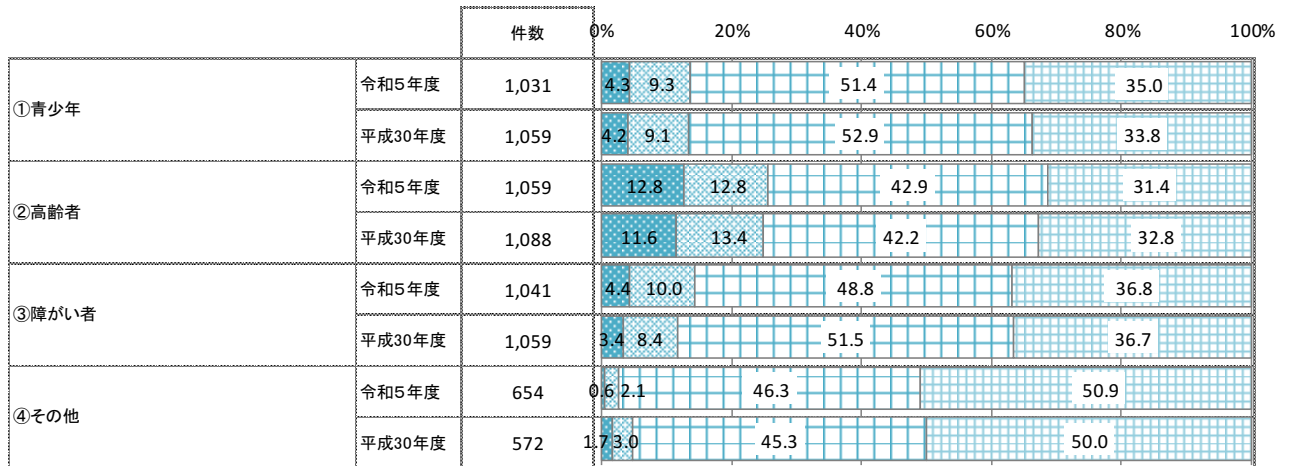
■知っている □知らなかった

## (10) 本来必要な支援を受けられていないと思われる身近な人の有無

### 【問 14】

「①青少年」については、「いない」が51.4%と半数以上を占めている。「②高齢者」については、「いない」が42.9%と他の項目と比べて低いが、「いる 被害にあったと見聞きしたことがある」「いる 被害にあったと見聞きしたことはない」がともに12.8%と他の項目と比べて高い割合となっている。

前回調査（30年度）と比較すると、傾向に目立った差異はない。



■ いる  
被害にあったと見聞きしたことがある  
□ いない

■ いる  
被害にあったと見聞きしたことはない  
□ わからない

## ①青少年

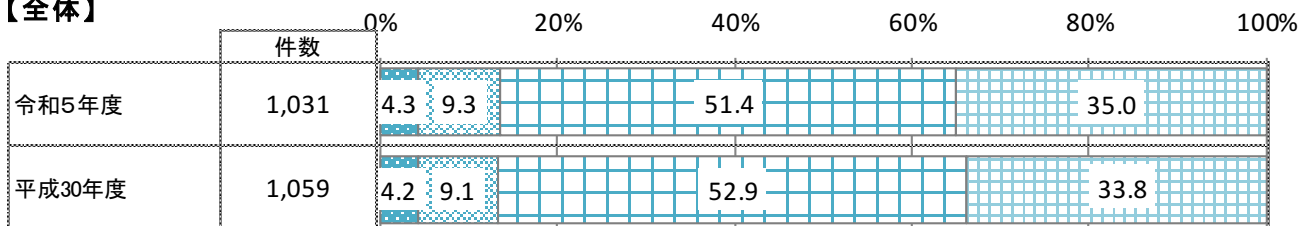
全体では、「いない」(51.4%)が最も割合が高く、次いで「わからない」(35.0%)、「いる(被害にあったと見聞きしたことはない)」(9.3%)と続いている。

前回調査(30年度)と比較すると、「いない」は1.5ポイント減少している。

市町村別では、14の市町村で「いない」が最も割合が高い。「若桜町」「日南町」では「いない」と「わからない」が同率である。「若桜町」では「いる(被害にあったと見聞きしたことがある)」が他の地区に比べて割合が高くなっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「いない」が「米子」「智頭町」「日吉津町」「大山町」「伯耆町」「日南町」「江府町」で増加している。

### 【全体】



■ いる 被害にあったと見聞きしたことがある  
 ■ いる 被害にあったと見聞きしたことはない  
 □ いない □ わからない

### 【市町村別】

#### 令和5年度

	回答件数計	割合(%)			
		いる被害にあったと見聞きしたことがある	いる被害にあったと見聞きしたことはない	わからない	いない
全体	1,031	4.3	9.3	35.0	51.4
鳥取市	361	4.4	11.1	30.2	54.3
米子市	259	5.8	9.3	30.1	54.8
倉吉市	90	3.3	8.9	44.4	43.3
境港市	55	3.6	5.5	36.4	54.5
岩美町	30	6.7	6.7	50.0	36.7
若桜町	6	16.7	16.7	33.3	33.3
智頭町	10	0.0	10.0	30.0	60.0
八頭町	25	8.0	8.0	40.0	44.0
三朝町	8	0.0	0.0	87.5	12.5
湯梨浜町	34	2.9	11.8	41.2	44.1
琴浦町	29	3.4	10.3	48.3	37.9
北栄町	24	0.0	8.3	41.7	50.0
日吉津村	8	0.0	0.0	12.5	87.5
大山町	32	0.0	9.4	34.4	56.3
南部町	18	5.6	11.1	33.3	50.0
伯耆町	22	0.0	4.5	40.9	54.5
日南町	6	0.0	0.0	50.0	50.0
日野町	5	0.0	0.0	40.0	60.0
江府町	6	0.0	0.0	66.7	33.3
無回答	3	0.0	0.0	100.0	0.0

#### 平成30年度

	回答件数計	割合(%)			
		いる被害にあったと見聞きしたことがある	いる被害にあったと見聞きしたことはない	わからない	いない
全体	1,059	4.3	9.1	33.6	53.0
鳥取市	311	5.5	9.6	29.9	55.0
米子市	299	3.7	8.0	37.8	50.5
倉吉市	92	6.5	7.6	27.2	58.7
境港市	58	1.7	10.3	32.8	55.2
岩美町	19	0.0	15.8	21.1	63.2
若桜町	7	14.3	14.3	28.6	42.9
智頭町	15	6.7	0.0	46.7	46.7
八頭町	27	0.0	7.4	25.9	66.7
三朝町	9	0.0	0.0	22.2	77.8
湯梨浜町	42	0.0	14.3	35.7	50.0
琴浦町	33	3.0	12.1	45.5	39.4
北栄町	35	2.9	14.3	25.7	57.1
日吉津村	5	0.0	20.0	40.0	40.0
大山町	28	3.6	7.1	46.4	42.9
南部町	22	9.1	0.0	31.8	59.1
伯耆町	26	3.8	11.5	34.6	50.0
日南町	12	0.0	16.7	50.0	33.3
日野町	5	0.0	0.0	20.0	80.0
江府町	9	22.2	0.0	55.6	22.2
無回答	5	0.0	0.0	80.0	20.0

## ②高齢者

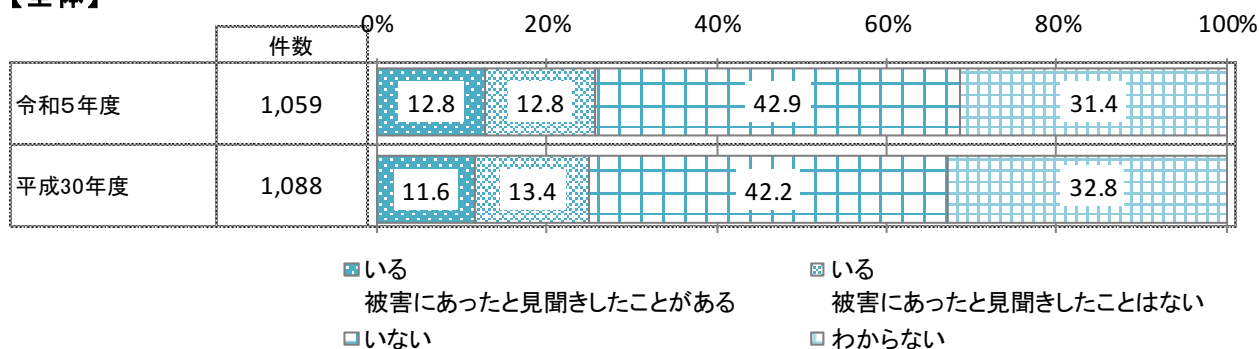
全体では、「いない」(42.9%)が最も割合が高く、次いで「わからない」(31.4%)、「いる(被害にあったと見聞きしたことはある)」(12.8%)、「いる(被害にあったと見聞きしたことはない)」(12.8%)と続いている。

前回調査(30年度)と比較すると、「いる(被害にあったと見聞きしたことはある)」は僅かに増加、「わからない」は僅かに減少、その他の項目は横ばいである。

市町村別では、9の市町村で「いない」が最も割合が高い。「若桜町」「智頭町」「湯梨浜町」「日南町」では「いない」と「わからない」が同率である。「いる(被害にあったと見聞きしたことがある)」が「若桜町」「江府町」、「いる(被害にあったと見聞きしたことはない)」が「日野町」で3割以上と比較的高い割合となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「いない」が「鳥取市」「米子市」「若桜町」「琴浦町」「日吉津村」「大山町」「日南町」で増加している。

### 【全体】



### 【市町村別】

#### 令和5年度

	回答件数計	割合(%)			
		いる(被害にあったと見聞きしたことがある)	いる(被害にあったと見聞きしたことはない)	わからない	いない
全体	1,059	12.8	12.8	31.4	42.9
鳥取市	365	11.8	13.7	28.5	46.0
米子市	268	16.4	11.6	26.1	45.9
倉吉市	95	14.7	15.8	38.9	30.5
境港市	58	8.6	10.3	32.8	48.3
岩美町	30	10.0	10.0	43.3	36.7
若桜町	6	33.3	0.0	33.3	33.3
智頭町	10	10.0	10.0	40.0	40.0
八頭町	26	11.5	15.4	30.8	42.3
三朝町	8	12.5	12.5	75.0	0.0
湯梨浜町	34	8.8	14.7	38.2	38.2
琴浦町	30	10.0	10.0	43.3	36.7
北栄町	24	0.0	20.8	45.8	33.3
日吉津村	8	12.5	0.0	12.5	75.0
大山町	33	6.1	12.1	33.3	48.5
南部町	19	31.6	10.5	21.1	36.8
伯耆町	23	8.7	13.0	34.8	43.5
日南町	7	14.3	0.0	42.9	42.9
日野町	6	0.0	33.3	16.7	50.0
江府町	6	33.3	16.7	33.3	16.7
無回答	3	0.0	0.0	100.0	0.0

#### 平成30年度

	回答件数計	割合(%)			
		いる(被害にあったと見聞きしたことがある)	いる(被害にあったと見聞きしたことはない)	わからない	いない
全体	1,088	11.6	13.4	32.8	42.2
鳥取市	320	10.0	14.1	30.3	45.6
米子市	309	14.2	11.7	34.0	40.1
倉吉市	97	17.5	15.5	25.8	41.2
境港市	58	6.9	8.6	36.2	48.3
岩美町	19	0.0	15.8	42.1	42.1
若桜町	7	14.3	28.6	28.6	28.6
智頭町	15	13.3	6.7	40.0	40.0
八頭町	29	13.8	13.8	24.1	48.3
三朝町	9	11.1	0.0	22.2	66.7
湯梨浜町	41	9.8	14.6	36.6	39.0
琴浦町	34	20.6	8.8	38.2	32.4
北栄町	34	8.8	14.7	26.5	50.0
日吉津村	5	0.0	40.0	40.0	20.0
大山町	29	3.4	17.2	48.3	31.0
南部町	22	9.1	13.6	31.8	45.5
伯耆町	26	0.0	19.2	34.6	46.2
日南町	12	8.3	25.0	41.7	25.0
日野町	6	16.7	16.7	16.7	50.0
江府町	10	20.0	10.0	50.0	20.0
無回答	6	0.0	16.7	66.7	16.7

### ③障がい者

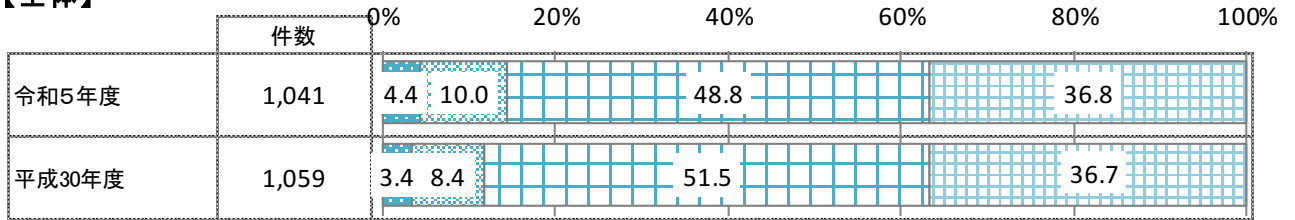
全体では、「いない」(48.8%)が最も割合が高く、次いで「わからない」(36.8%)、「いる(被害にあったと見聞きしたことはない)」(10.0%)と続いている。

前回調査(30年度)と比較すると、「いない」が2.7ポイント減少している。

市町村別では、11市町村で「いない」が最も割合が高い。また、若桜町では「いない」と「いる(被害にあったと見聞きしたことはある)」が同率である。

前回調査(30年度)と比較すると、「日吉津村」「大山町」「日南町」では「いない」が大幅に増加している。

#### 【全体】



■ いる(被害にあったと見聞きしたことがある)  
■ いる(被害にあったと見聞きしたことはない)  
■ いない  
■ わからない

#### 【市町村別】

##### 令和5年度

	回答件数計	割合(%)			
		いる(被害にあったと見聞きしたことがある)	いる(被害にあったと見聞きしたことはない)	いない	わからない
全体	1,041	4.4	10.0	48.8	36.8
市					
鳥取市	361	5.3	12.2	51.0	31.6
米子市	264	5.7	8.3	53.4	32.6
倉吉市	92	3.3	15.2	35.9	45.7
境港市	55	3.6	5.5	54.5	36.4
岩美町	30	0.0	13.3	33.3	53.3
若桜町	6	33.3	0.0	33.3	33.3
智頭町	10	0.0	10.0	30.0	60.0
八頭町	25	4.0	4.0	56.0	36.0
三朝町	8	0.0	12.5	12.5	75.0
湯梨浜町	34	5.9	5.9	41.2	47.1
村					
琴浦町	29	0.0	6.9	41.4	51.7
北栄町	24	4.2	8.3	45.8	41.7
日吉津村	8	12.5	0.0	75.0	12.5
大山町	32	0.0	6.3	56.3	37.5
南部町	19	0.0	10.5	52.6	36.8
伯耆町	22	0.0	4.5	50.0	45.5
日南町	6	0.0	0.0	50.0	50.0
日野町	6	0.0	33.3	50.0	16.7
江府町	7	0.0	14.3	28.6	57.1
無回答	3	0.0	0.0	0.0	100.0

##### 平成30年度

	回答件数計	割合(%)			
		いる(被害にあったと見聞きしたことがある)	いる(被害にあったと見聞きしたことはない)	いない	わからない
全体	1,059	3.4	8.4	51.7	36.6
市					
鳥取市	311	3.5	7.7	57.9	30.9
米子市	297	4.0	8.1	48.1	39.7
倉吉市	91	2.2	11.0	49.5	37.4
境港市	58	3.4	5.2	58.6	32.8
岩美町	20	0.0	15.0	50.0	35.0
若桜町	7	14.3	0.0	42.9	42.9
智頭町	14	0.0	7.1	42.9	50.0
八頭町	27	3.7	14.8	48.1	33.3
三朝町	11	0.0	0.0	72.7	27.3
湯梨浜町	42	4.8	11.9	45.2	38.1
村					
琴浦町	33	0.0	9.1	42.4	48.5
北栄町	33	3.0	12.1	54.5	30.3
日吉津村	5	0.0	20.0	40.0	40.0
大山町	29	0.0	10.3	37.9	51.7
南部町	22	4.5	0.0	59.1	36.4
伯耆町	26	3.8	3.8	57.7	34.6
日南町	12	8.3	0.0	33.3	58.3
日野町	6	16.7	0.0	66.7	16.7
江府町	9	0.0	22.2	22.2	55.6
無回答	6	0.0	16.7	16.7	66.7

#### ④その他

その他としては、「ひきこもり」などが挙げられている。

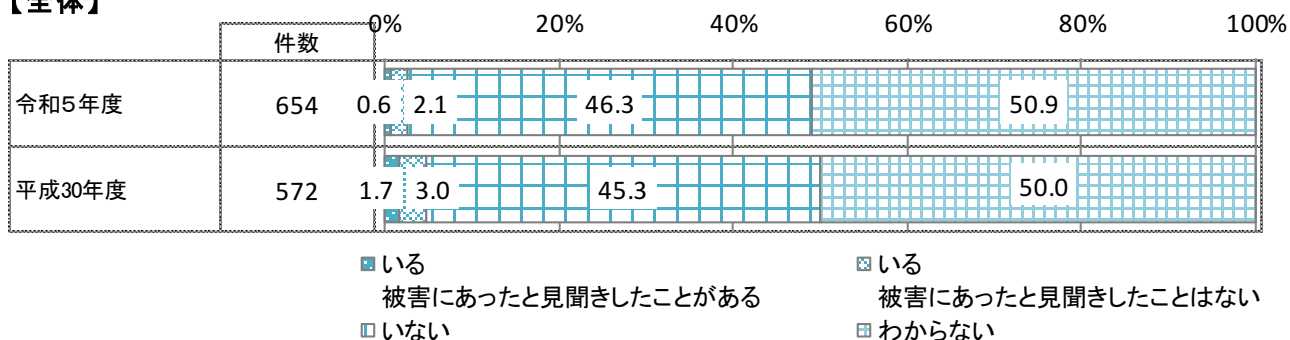
全体では、「わからない」(50.9%)が最も割合が高く、次いで「いない」(46.3%)、「いる(被害にあったと聞きしたことはない)」(2.1%)と続いている。

前回調査(30年度)と比較すると、「いる(被害にあったと聞きしたことがある)」が僅かに減少、「いない」が僅かに増加、その他の項目は横ばいである。

市町村別では、10の市町村で「わからない」が最も割合が高い。「日南町」、「江府町」では「いない」、「わからない」が同率となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「いない」が「日吉津村」「大山町」「伯耆町」「日南町」「日野町」「江府町」で増加している。

#### 【全体】



#### 【市町村別】

##### 令和5年度

	回答件数計	割合(%)			
		いる被害にあったと聞きしたことがある	いる被害にあったと聞きしたことはない	いない	わからない
全体	654	0.6	2.1	46.3	50.9
鳥取市	214	0.9	2.8	49.1	47.2
米子市	170	0.6	1.2	49.4	48.8
倉吉市	53	0.0	1.9	41.5	56.6
境港市	35	0.0	5.7	54.3	40.0
岩美町	19	0.0	0.0	26.3	73.7
若桜町	3	0.0	0.0	0.0	100.0
智頭町	7	0.0	0.0	28.6	71.4
八頭町	19	5.3	0.0	52.6	42.1
三朝町	5	0.0	0.0	0.0	100.0
湯梨浜町	22	0.0	0.0	45.5	54.5
琴浦町	22	0.0	4.5	31.8	63.6
北栄町	16	0.0	6.3	25.0	68.8
日吉津村	6	0.0	0.0	100.0	0.0
大山町	21	0.0	0.0	47.6	52.4
南部町	15	0.0	6.7	33.3	60.0
伯耆町	15	0.0	0.0	53.3	46.7
日南町	6	0.0	0.0	50.0	50.0
日野町	1	0.0	0.0	100.0	0.0
江府町	4	0.0	0.0	50.0	50.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0

##### 平成30年度

	回答件数計	割合(%)			
		いる被害にあったと聞きしたことがある	いる被害にあったと聞きしたことはない	いない	わからない
全体	572	1.8	3.0	45.4	49.8
鳥取市	164	4.3	1.8	49.4	44.5
米子市	173	0.6	4.0	43.9	51.4
倉吉市	51	0.0	5.9	41.2	52.9
境港市	33	0.0	0.0	51.5	48.5
岩美町	8	0.0	0.0	37.5	62.5
若桜町	1	0.0	0.0	100.0	0.0
智頭町	9	0.0	0.0	33.3	66.7
八頭町	16	0.0	0.0	43.8	56.3
三朝町	3	0.0	0.0	66.7	33.3
湯梨浜町	16	0.0	0.0	43.8	56.3
琴浦町	15	0.0	6.7	33.3	60.0
北栄町	14	0.0	7.1	57.1	35.7
日吉津村	4	0.0	0.0	25.0	75.0
大山町	18	11.1	5.6	27.8	55.6
南部町	12	0.0	0.0	66.7	33.3
伯耆町	16	0.0	0.0	37.5	62.5
日南町	8	0.0	0.0	37.5	62.5
日野町	4	0.0	0.0	75.0	25.0
江府町	3	0.0	33.3	33.3	33.3
無回答	4	0.0	0.0	25.0	75.0

## (11) 消費者被害を防止するために重要な取組

【問 15】

### 《青少年》

全体では「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」(76.4%)が最も割合が高く、次いで「学校の授業等で学習する」(70.3%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「報道機関に被害情報などを取り上げてもらう」が3.7ポイント増加している。

性別では、男女ともに「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」の割合が最も高く、女性が男性を8.8ポイント上回っている。

前回調査(30年度)と比較すると、「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」が男女ともに減少、「学校の授業等で学習する」が男女ともに増加している。

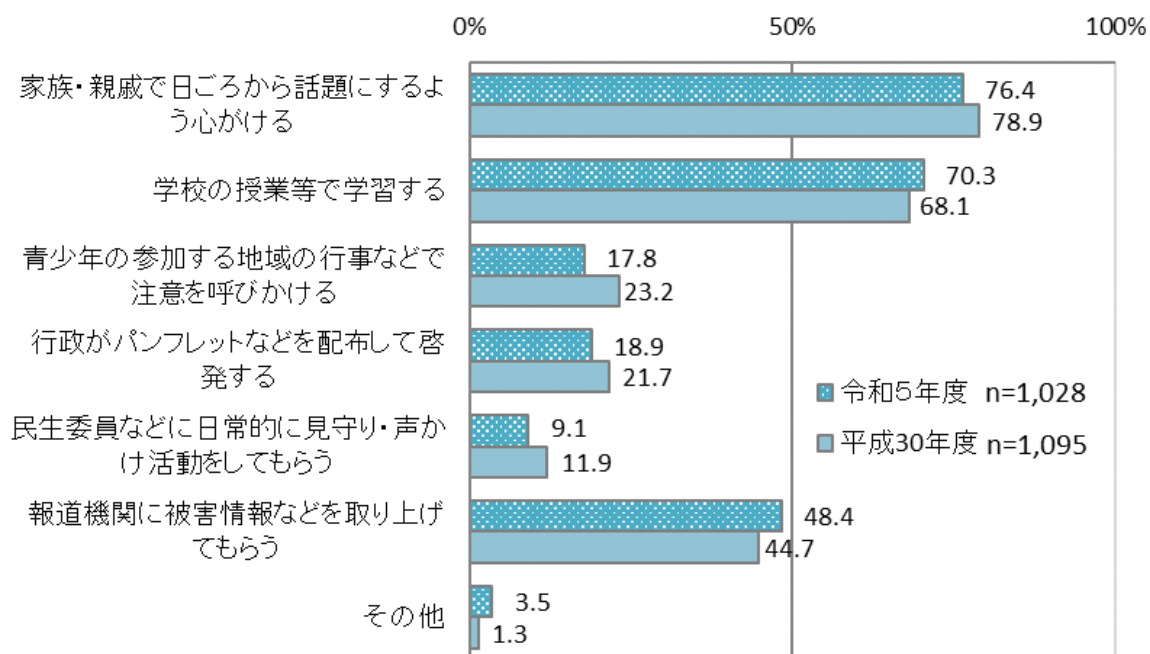
年齢別では、「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」は65～69歳、75歳以上が8割以上で特に割合が高く、「学校の授業等で学習する」は30歳代が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「学校の授業等で学習する」が20歳代、40歳代を除く全ての年代で増加している。

地区別では、傾向に目立った差異はない。

前回調査(30年度)と比較すると、「学校の授業等で学習する」が西部地区で6.5ポイント増加している。

### 【全体】





【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)							
		家族・親族で 日ごろから話 題にするよう 心がける	学校の授業等 で学習する	報道機関に被 害情報などを 取り上げてもら う	行政がパンフ レットなどを配 布して啓発す る	青少年の参加 する地域の行 事などで注意 を呼びかける	民生委員など に日常的に見 守り・声かけ 活動してもら う	その他	
全体	1,028	76.4	70.3	48.4	18.9	17.8	9.1	3.5	
性別	男性	436	71.8	68.6	51.1	20.9	14.7	10.1	3.9
	女性	556	80.6	72.7	47.5	17.4	19.4	7.9	2.7
	その他・回答したくない	14	57.1	50.0	42.9	14.3	21.4	21.4	21.4
年齢別	18～19歳	19	68.4	78.9	26.3	15.8	10.5	5.3	0.0
	20～29歳	80	62.5	71.3	47.5	16.3	20.0	11.3	8.8
	30～39歳	124	71.8	81.5	50.0	11.3	12.1	7.3	4.0
	40～49歳	154	77.9	77.9	42.9	13.6	14.9	11.7	5.8
	50～59歳	196	78.6	76.5	48.5	19.9	12.2	5.6	4.1
	60～64歳	117	75.2	63.2	47.0	13.7	22.2	12.0	1.7
	65～69歳	131	80.2	67.2	51.1	23.7	19.8	4.6	1.5
	70～74歳	157	79.0	56.7	56.7	26.8	22.9	12.1	1.9
75歳以上	49	83.7	59.2	42.9	28.6	30.6	12.2	0.0	
地区別	東部地区	432	74.1	70.8	48.6	20.1	15.7	9.3	3.7
	中部地区	178	78.7	67.4	46.1	22.5	20.8	7.9	3.4
	西部地区	415	77.6	71.3	49.6	15.9	18.8	9.4	3.4

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)							
		家族・親族で 日ごろから話 題にするよう 心がける	学校の授業等 で学習する	報道機関に被 害情報などを 取り上げてもら う	青少年の参加 する地域の行 事などで注意 を呼びかける	行政がパンフ レットなどを配 布して啓発す る	民生委員など に日常的に見 守り・声かけ 活動してもら う	その他	
全体	1,095	78.9	68.1	44.7	23.2	21.7	11.9	1.3	
性別	男性	450	76.0	64.2	42.9	22.2	24.2	12.4	1.8
	女性	631	80.7	71.2	46.1	24.1	20.0	11.6	1.0
年齢別	20～29歳	108	68.5	85.2	42.6	18.5	14.8	10.2	0.9
	30～39歳	123	72.4	75.6	43.9	17.9	19.5	13.0	2.4
	40～49歳	154	83.1	80.5	46.8	20.1	16.2	9.7	2.6
	50～59歳	169	79.3	72.8	43.2	21.9	22.5	7.7	1.8
	60～64歳	163	81.6	62.6	48.5	26.4	23.9	13.5	0.6
	65～69歳	184	81.0	63.6	45.7	24.5	27.7	13.0	0.5
	70～74歳	160	79.4	50.6	39.4	31.3	22.5	13.8	0.6
75歳以上	29	86.2	37.9	51.7	17.2	27.6	24.1	0.0	
地区別	東部地区	389	75.8	70.7	42.2	21.3	22.9	10.5	1.8
	中部地区	220	81.8	70.9	48.2	22.3	23.6	6.8	0.9
	西部地区	480	79.8	64.8	45.0	25.2	20.0	15.4	1.0

## 《高齢者》

全体では、「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」（79.5%）が最も割合が高く、次いで「近隣同士で声を掛け合う」（44.2%）となっている。

前回調査（30年度）と比較すると、「報道機関に被害情報などを取り上げてもらう」が4ポイント増加している。

性別では、男女ともに「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」の割合が最も高く、女性が男性を5.9ポイント上回っている。

前回調査（30年度）と比較すると、「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」が男女ともに横ばいである。また、「近隣同士で声を掛け合う」が男女ともに減少している。

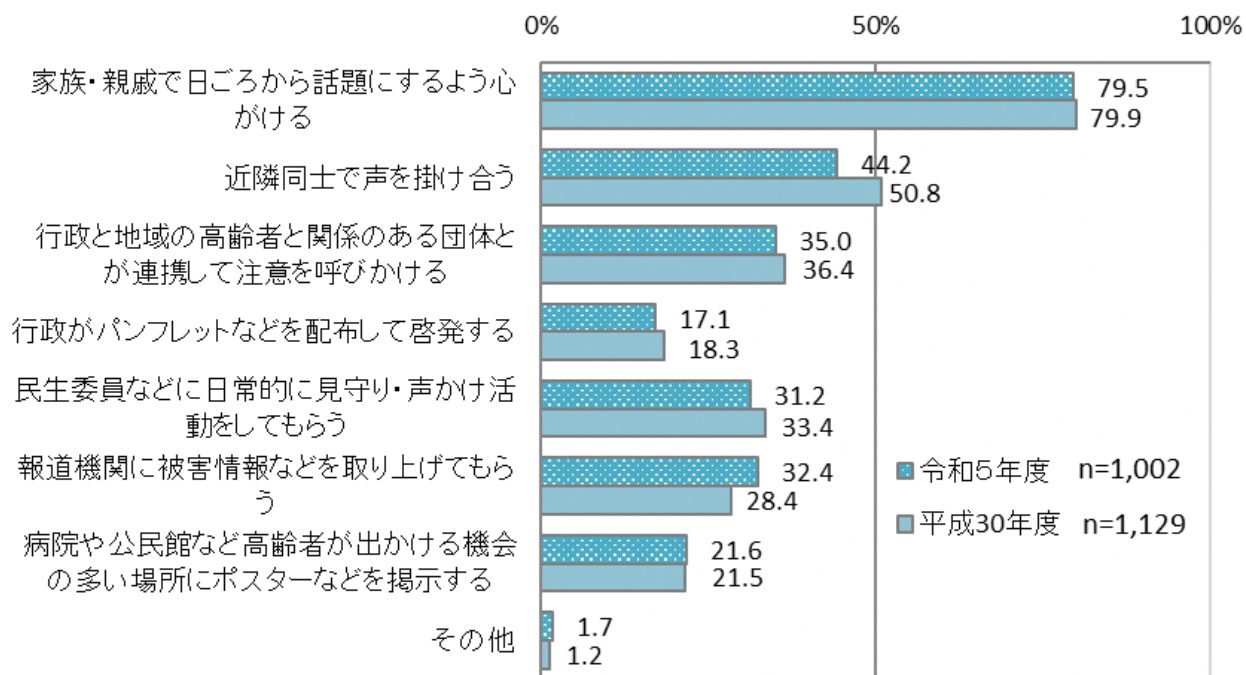
年齢別では、全ての年齢層で「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」の割合が最も高くなっている。

前回調査（30年度）と比較すると、「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」が40歳代、70～74歳で増加、「行政と地域の高齢者と関係のある団体とが連携して注意を呼びかける」が75歳以上で18.1ポイント増加している。

地区別では、全ての地区で「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」が最も割合が高い。

前回調査（30年度）と比較すると、「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」が西部地区で特に増加している。

## 【全体】



【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)								
		家族・親族で 日ごろから話 題にするよう 心がける	近隣同士で声 を掛け合う	行政と地域の 高齢者と関係 のある団体と が連携して注 意を呼びかけ る	報道機関に被 害情報などを 取り上げてもら う	民生委員など に日常的に見 守り・声かけ 活動をしてもら う	病院や公民館 など高齢者が 出かける機会 の多い場所に ポスターなどを 掲示する	行政がパンフ レットなどを配 布して啓発す る	その他	
全体	1,002	79.5	44.2	35.0	32.4	31.2	21.6	17.1	1.7	
性別	男性	431	76.8	39.9	34.3	36.9	26.9	20.4	22.7	1.9
	女性	537	82.7	46.9	35.6	29.8	35.0	22.0	12.8	1.3
	その他・回答したくない	13	30.8	61.5	30.8	30.8	23.1	38.5	15.4	7.7
年齢別	18～19歳	17	70.6	35.3	11.8	23.5	47.1	29.4	5.9	5.9
	20～29歳	75	73.3	49.3	30.7	32.0	26.7	26.7	12.0	4.0
	30～39歳	118	77.1	53.4	32.2	33.9	30.5	24.6	15.3	0.0
	40～49歳	147	83.0	45.6	37.4	21.8	31.3	27.2	12.2	2.7
	50～59歳	185	80.0	46.5	36.2	33.5	33.0	20.0	15.7	1.1
	60～64歳	113	81.4	39.8	42.5	27.4	37.2	14.2	19.5	1.8
	65～69歳	133	80.5	39.1	33.1	39.1	28.6	19.5	18.0	0.8
	70～74歳	158	80.4	39.9	32.9	40.5	25.9	21.5	22.8	2.5
75歳以上	55	76.4	41.8	40.0	29.1	36.4	16.4	25.5	0.0	
地区別	東部地区	416	78.4	44.2	34.9	30.8	32.0	20.0	19.0	1.4
	中部地区	181	75.1	50.3	37.0	30.9	34.8	22.7	12.7	2.8
	西部地区	404	82.7	41.3	34.4	34.9	28.7	22.8	17.1	1.5

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)								
		家族・親族で 日ごろから話 題にするよう 心がける	近隣同士で声 を掛け合う	行政と地域の 高齢者と関係 のある団体と が連携して注 意を呼びかけ る	民生委員など に日常的に見 守り・声かけ 活動をしてもら う	報道機関に被 害情報などを 取り上げてもら う	病院や公民館 など高齢者が 出かける機会 の多い場所に ポスターなどを 掲示する	行政がパンフ レットなどを配 布して啓発す る	その他	
全体	1,129	79.9	50.8	36.4	33.4	28.4	21.5	18.3	1.2	
性別	男性	458	76.0	50.7	35.8	27.9	28.4	18.8	22.7	1.7
	女性	656	82.5	51.2	37.3	37.2	28.2	23.9	15.1	0.8
年齢別	20～29歳	108	79.6	56.5	31.5	24.1	25.9	29.6	15.7	0.9
	30～39歳	124	78.2	55.6	33.1	37.1	28.2	21.8	16.9	1.6
	40～49歳	153	80.4	56.2	35.3	45.1	24.8	25.5	15.7	1.3
	50～59歳	174	84.5	52.3	40.8	31.6	28.7	19.5	17.2	0.6
	60～64歳	166	82.5	46.4	38.6	33.7	31.3	25.9	13.9	1.2
	65～69歳	190	81.1	44.7	38.4	34.7	30.5	18.4	21.1	2.1
	70～74歳	177	71.2	46.9	37.9	28.2	27.1	15.8	23.2	0.6
	75歳以上	32	84.4	56.3	21.9	21.9	31.3	15.6	31.3	0.0
地区別	東部地区	403	78.2	49.9	34.7	30.0	29.8	21.8	18.1	1.2
	中部地区	221	85.1	52.0	42.1	30.8	26.2	22.2	14.9	0.9
	西部地区	499	78.8	50.7	35.7	37.1	28.3	21.2	20.0	1.2

## 《障がい者》

全体では、「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」(77.9%)が最も割合が高く、次いで「行政と地域の障がい者と関係のある団体とが連携して注意を呼びかける」(55.1%)、「障がい者の参加する地域の行事などで注意を呼び掛ける」(49.1%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「報道機関に被害情報などを取り上げてもらう」が4.1ポイント増加している。

性別では、男女ともに「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」が最も割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「報道機関に被害情報などを取り上げてもらう」が男女ともに4ポイント以上増加している。

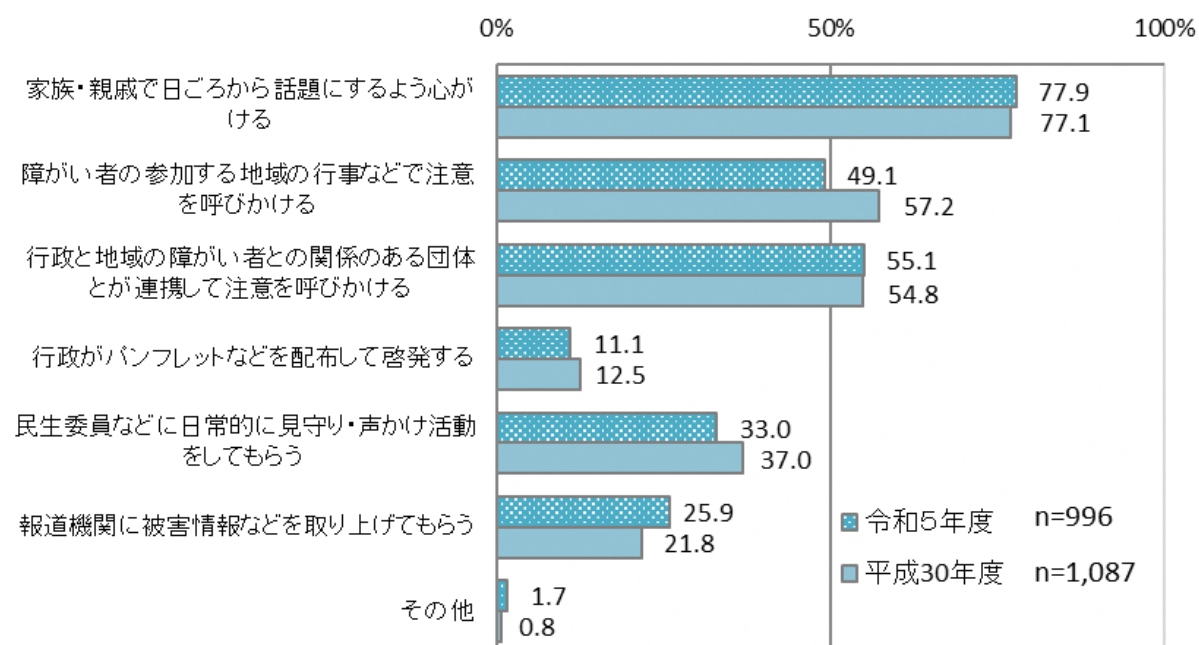
年齢別では、全ての年齢層で「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」が最も割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」は50歳代、60～74歳が増加し、「行政と地域の障がい者と関係のある団体とが連携して注意を呼びかける」は40～59歳、70歳以上で増加している。

地区別では、傾向に目立った差異はない。

前回調査(30年度)と比較すると、「家族・親族で日ごろから話題にするよう心がける」は中部地区で5.8ポイント減少している。

## 【全体】



【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)							
		家族・親族で 日ごろから話 題にするよう 心がける	行政と地域の 障がい者と関 係のある団体 とが連携して 注意を呼びか ける	障がい者の参 加する地域の 行事などで注 意を呼びかけ る	民生委員など に日常的に見 守り・声かけ 活動をしてもら う	報道機関に被 害情報などを 取り上げてもら う	行政がパンフ レットなどを配 布して啓発す る	その他	
全体	996	77.9	55.1	49.1	33.0	25.9	11.1	1.7	
性別	男性	426	74.4	54.2	48.8	31.0	28.6	14.6	2.1
	女性	537	81.2	56.2	48.8	35.0	24.2	8.4	0.9
	その他・回答したくない	12	58.3	41.7	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7
年齢別	18～19歳	18	72.2	33.3	50.0	27.8	16.7	11.1	0.0
	20～29歳	80	76.3	46.3	46.3	35.0	22.5	10.0	2.5
	30～39歳	116	75.0	56.0	48.3	37.9	25.9	9.5	3.4
	40～49歳	150	78.0	61.3	53.3	31.3	20.0	8.7	2.0
	50～59歳	189	82.5	63.0	42.3	35.4	24.9	10.6	1.6
	60～64歳	112	75.0	54.5	53.6	32.1	25.9	11.6	1.8
	65～69歳	131	82.4	45.8	54.2	28.2	32.1	12.2	1.5
	70～74歳	150	75.3	51.3	50.0	28.7	32.7	13.3	0.7
75歳以上	49	73.5	65.3	40.8	44.9	20.4	14.3	0.0	
地区別	東部地区	416	78.4	54.3	46.2	36.1	24.0	12.7	1.9
	中部地区	175	73.1	58.9	52.0	33.7	28.0	11.4	1.7
	西部地区	404	79.5	54.5	50.7	29.7	27.0	9.2	1.5

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)							
		家族・親族で 日ごろから話 題にするよう 心がける	障がい者の参 加する地域の 行事などで注 意を呼びかけ る	行政と地域の 障がい者と関 係のある団体 とが連携して 注意を呼びか ける	民生委員など に日常的に見 守り・声かけ 活動をしてもら う	報道機関に被 害情報などを 取り上げてもら う	行政がパンフ レットなどを配 布して啓発す る	その他	
全体	1,087	77.1	57.2	54.8	37.0	21.8	12.5	0.8	
性別	男性	446	72.9	53.4	53.4	33.0	24.2	15.2	1.3
	女性	629	79.7	59.8	56.4	39.7	20.0	10.7	0.5
年齢別	20～29歳	106	76.4	56.6	54.7	35.8	17.9	10.4	0.9
	30～39歳	123	79.7	48.8	59.3	42.3	17.1	11.4	0.8
	40～49歳	153	85.0	56.2	52.3	42.5	21.6	11.1	1.3
	50～59歳	172	77.9	55.2	59.3	37.8	20.9	13.4	0.6
	60～64歳	163	79.8	58.3	54.6	30.7	24.5	14.7	0.6
	65～69歳	180	76.7	58.9	56.1	31.7	26.1	12.8	0.6
	70～74歳	157	64.3	64.3	51.0	38.9	19.7	10.8	1.3
75歳以上	28	75.0	57.1	46.4	39.3	28.6	21.4	0.0	
地区別	東部地区	383	77.0	58.2	53.5	37.6	21.1	12.3	1.0
	中部地区	218	78.9	61.9	57.8	36.7	19.7	10.6	0.0
	西部地区	480	76.0	54.2	55.2	36.3	23.1	13.5	1.0

## 5. 消費者問題への関心について

### (1) 消費者問題に対する関心

【問 16】

全体では「ある程度関心がある」(49.9%)が最も割合が高く、次いで「あまり関心がない」(20.2%)、「関心がある」(14.2%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「関心がある」、「ある程度関心がある」は僅かに減少、「関心がない」が2ポイント増加している。

性別では、男女ともに「ある程度関心がある」が最も割合が高く、女性が男性を7ポイント上回っている。

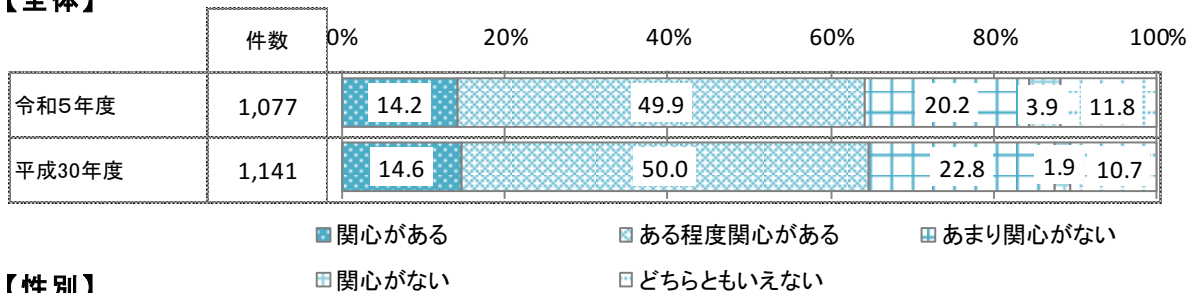
前回調査(30年度)と比較すると、「関心がある」は男性で減少、女性で増加している。年齢別では、全ての年齢層で「ある程度関心がある」が最も割合が高くなっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「ある程度関心がある」が30~49歳、70歳以上で増加、50歳代は横ばい、それ以外の年代で減少している。

地区別では、東部地区、中部地区で「ある程度関心がある」が他の地区と比べて高い。

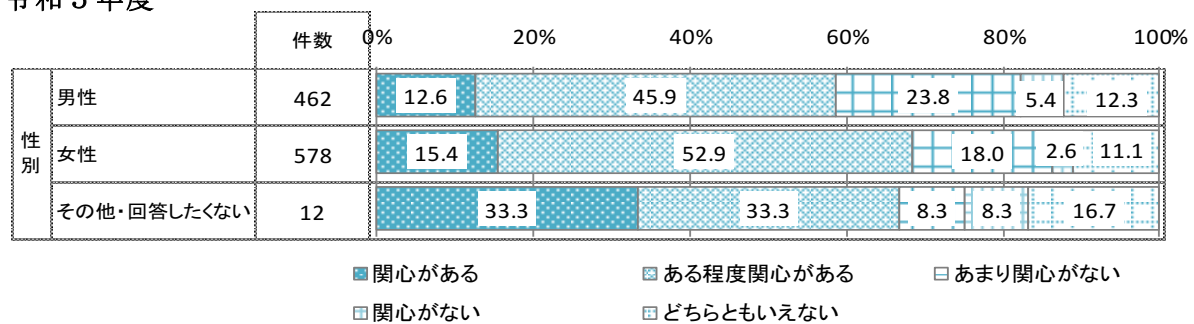
前回調査(30年度)と比較すると、「ある程度関心がある」は、東部地区、中部地区で増加している。

#### 【全体】

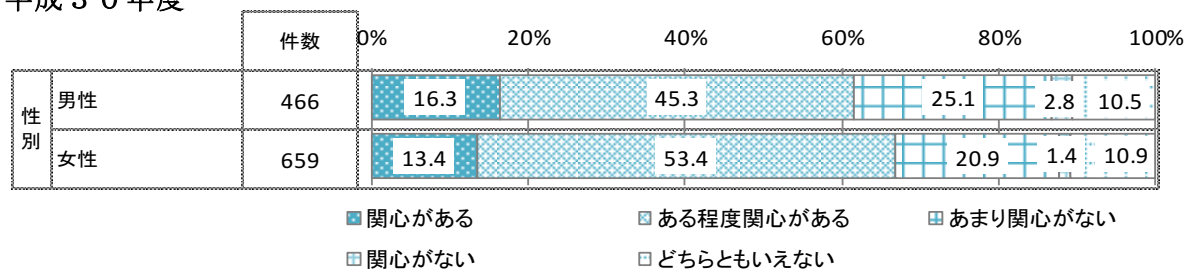


#### 【性別】

##### 令和5年度

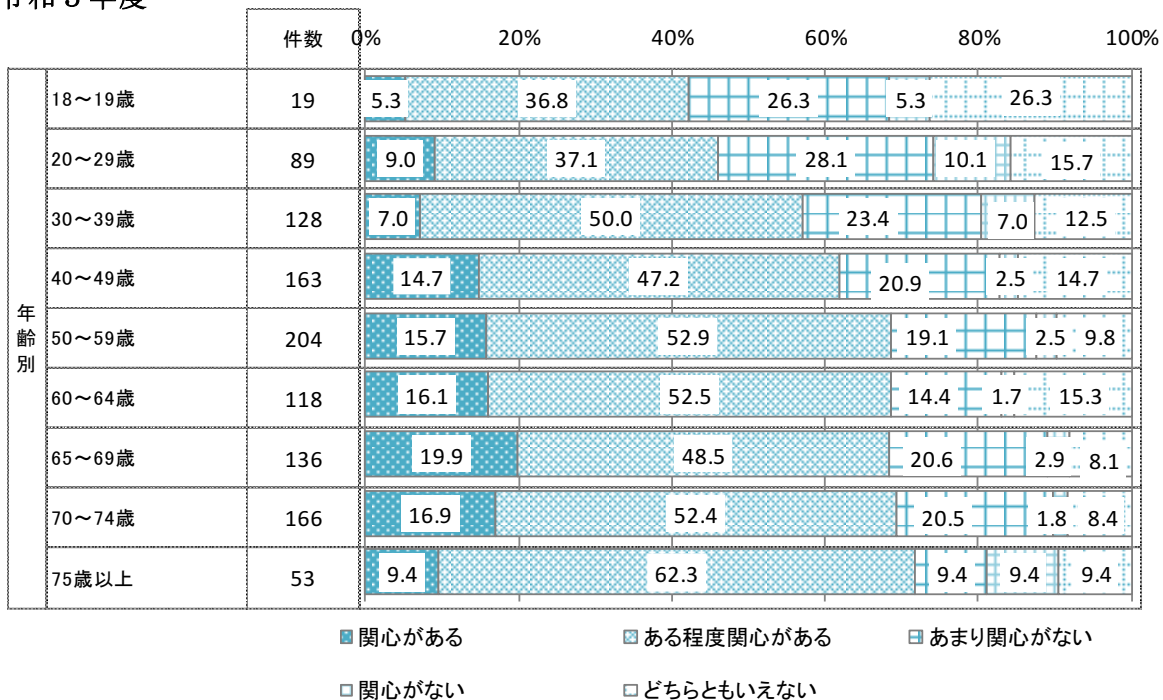


##### 平成30年度

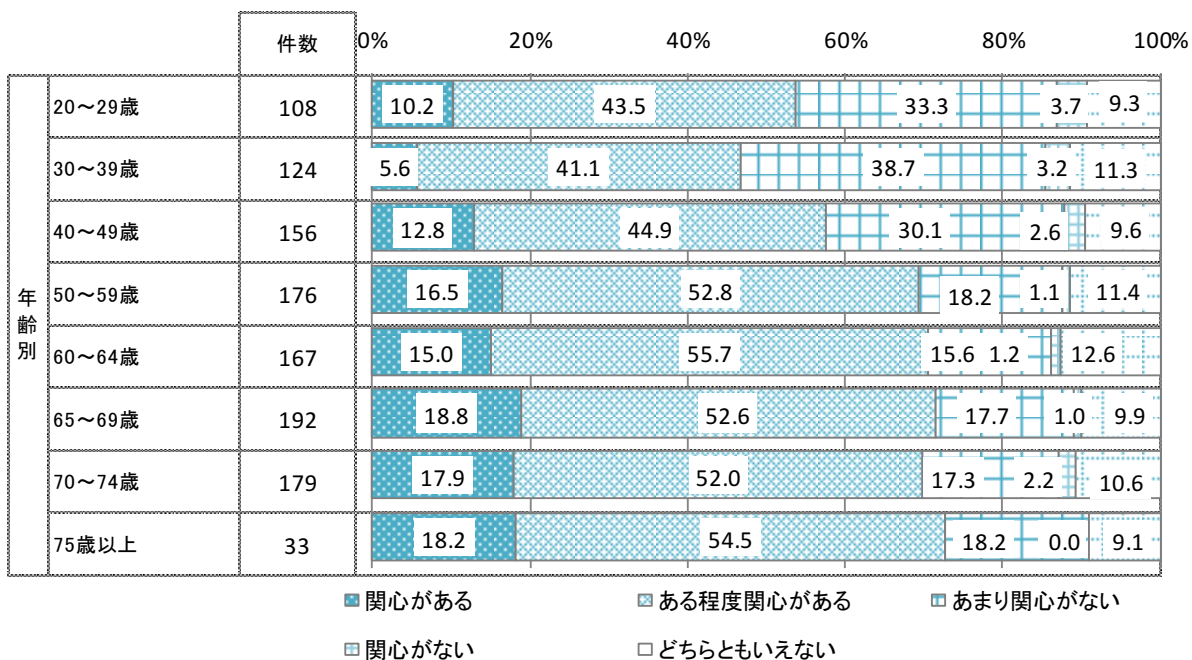


## 【年齢別】

令和5年度

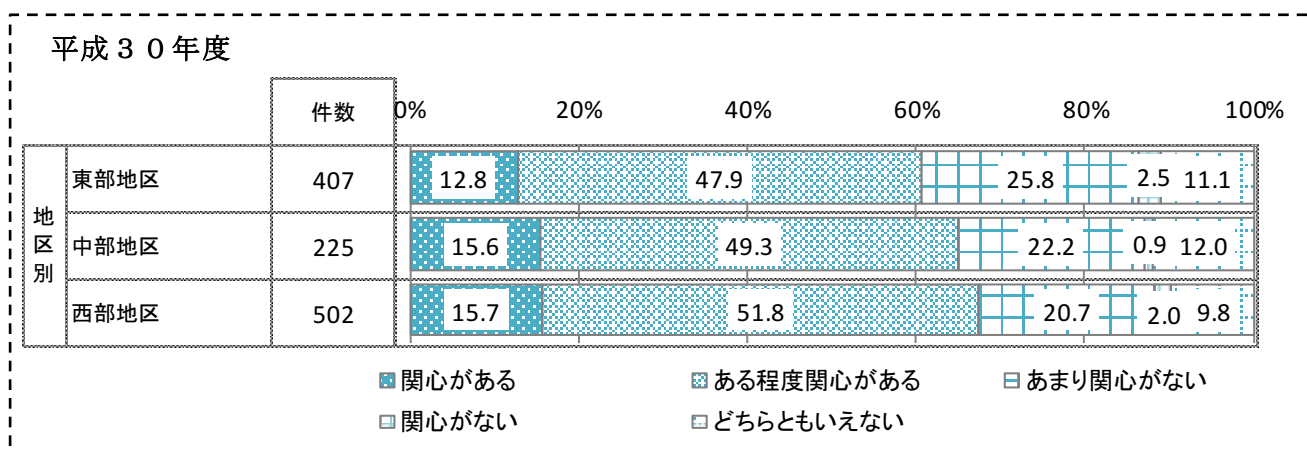
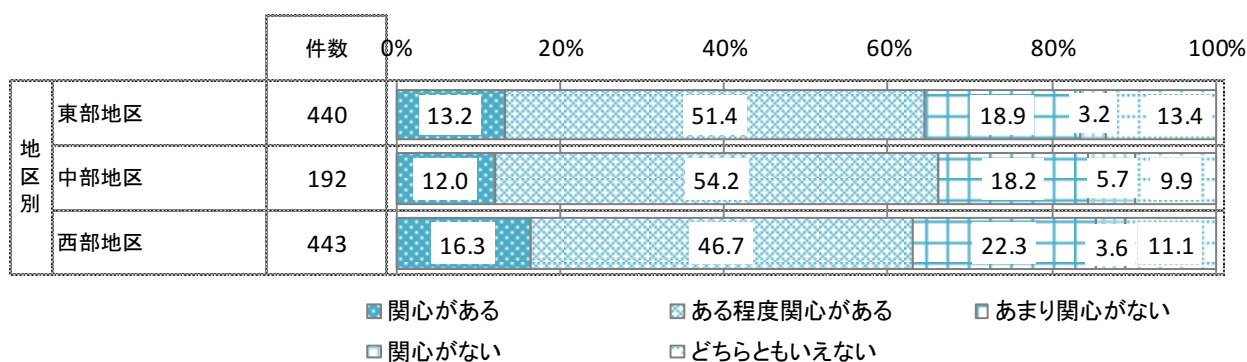


平成30年度



【地区別】

令和5年度





## (2) (関心がある場合) 消費者問題に関心をもったきっかけ 【問 16-1】

全体では「テレビや新聞などメディアを通じて発信される情報を見た」(80.6%)が最も割合が高く、他の項目を大きく引き離している。

前回調査(30年度)と比較すると「自分や家族が実際に消費者被害にあった」が、1.8ポイント高くなっている。

性別では、男女ともに「テレビや新聞などメディアを通じて発信される情報を見た」が最も割合が高く、8割以上を占めている。

前回調査(30年度)と比較すると、男性で「自分や家族が実際に消費者被害にあった」が3.1ポイント増加している。

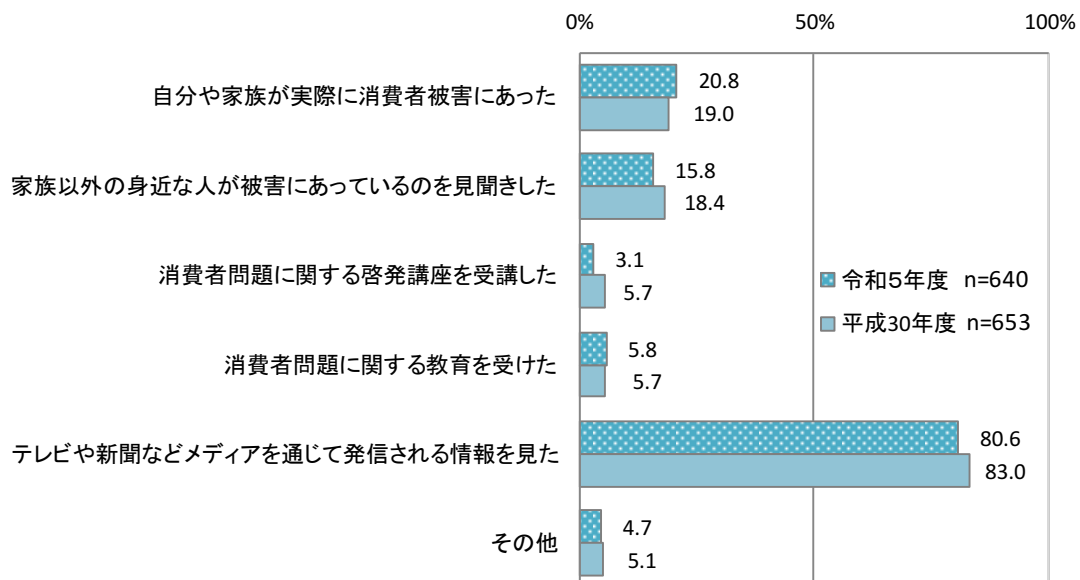
年齢別では、18～19歳を除く年代で「テレビや新聞などメディアを通じて発信される情報を見た」が最も割合が高い。18～19歳では、「テレビや新聞などメディアを通じて発信される情報を見た」「消費者問題に関する教育を受けた」が同率である。

前回調査(30年度)と比較すると、75歳以上で「テレビや新聞などメディアを通じて発信される情報を見た」が10.3ポイント増加している。

地区別では、中部地区、西部地区で「消費者問題に関する啓発講座を受講した」「消費者問題に関する教育を受けた」が他の地区と比べて高い。

前回調査(30年度)と比較すると、中部地区、西部地区で「自分や家族が実際に消費者被害にあった」が増加している。

### 【全体】



【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合 (%)						
		テレビや新聞 などメディアを 通じて発信さ れる情報を見 た	自分や家族が 実際に消費者 被害にあった	家族以外の身 近な人が被害 にあっている のを見聞きし た	消費者問題に 関する啓発講 座を受講した	消費者問題に 関する教育を 受けた	その他	
全体	640	80.6	20.8	15.8	3.1	5.8	4.7	
性別	男性	251	80.5	19.1	15.5	3.2	6.8	5.6
	女性	367	81.2	21.5	16.1	3.0	4.9	4.1
	その他・回答したくない	8	62.5	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0
年齢別	18～19歳	8	50.0	12.5	12.5	0.0	50.0	12.5
	20～29歳	40	77.5	17.5	5.0	0.0	17.5	10.0
	30～39歳	65	80.0	16.9	16.9	3.1	12.3	6.2
	40～49歳	94	75.5	27.7	13.8	1.1	9.6	4.3
	50～59歳	135	78.5	21.5	15.6	0.7	2.2	5.2
	60～64歳	79	72.2	29.1	19.0	2.5	3.8	2.5
	65～69歳	87	92.0	17.2	17.2	3.4	0.0	2.3
	70～74歳	102	84.3	16.7	18.6	8.8	2.9	4.9
75歳以上	30	96.7	13.3	13.3	6.7	0.0	3.3	
地区別	東部地区	264	81.1	18.6	16.3	1.9	3.4	7.2
	中部地区	120	77.5	22.5	15.0	5.0	7.5	3.3
	西部地区	256	81.6	22.3	15.6	3.5	7.4	2.7

平成30年度

	回答件数 計	割合 (%)						
		テレビや新聞 などメディアを 通じて発信さ れる情報を見 た	自分や家族が 実際に消費者 被害にあった	家族以外の身 近な人が被害 にあっている のを見聞きし た	消費者問題に 関する啓発講 座を受講した	消費者問題に 関する教育を 受けた	その他	
全体	653	83.0	19.0	18.4	5.7	5.7	5.1	
性別	男性	262	83.6	16.0	17.6	5.7	5.7	6.5
	女性	383	82.8	21.1	18.8	5.7	5.7	4.2
年齢別	20～29歳	53	75.5	17.0	11.3	1.9	18.9	5.7
	30～39歳	56	82.1	12.5	12.5	0.0	8.9	7.1
	40～49歳	88	78.4	25.0	19.3	2.3	6.8	6.8
	50～59歳	110	82.7	24.5	13.6	0.9	2.7	9.1
	60～64歳	105	81.9	21.0	21.0	3.8	2.9	5.7
	65～69歳	112	87.5	13.4	19.6	6.3	4.5	3.6
	70～74歳	103	87.4	17.5	26.2	16.5	4.9	0.0
75歳以上	22	86.4	13.6	13.6	22.7	0.0	0.0	
地区別	東部地区	219	80.4	20.1	19.2	5.0	5.9	5.0
	中部地区	132	85.6	21.2	12.9	7.6	7.6	6.1
	西部地区	298	83.9	17.1	20.1	5.4	4.7	4.7

### (3) (関心がある場合)関心がある消費者問題

### 【問 16-2】

全体では「インターネットやメールを利用した悪質な手口」(63.3%)が最も割合が高く、次いで「食品の安全性(食中毒、偽装表示など)」(60.6%)、「製品の安全性(製品の欠陥による事故、製品のリコールなど)」(60.0%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「インターネットやメールを利用した悪質な手口」が6ポイント増加し、「金融(投資・保険・融資等の金融商品の問題など)」が6.1ポイント増加している。

性別では、男女ともに「インターネットやメールを利用した悪質な手口」が最も高く、女性では同率で「食品の安全性(食中毒、偽装表示など)」が高くなっている。

前回調査(30年度)と比較すると、男性では「振り込め詐欺」が10.5ポイント増加、女性では「インターネットやメールを利用した悪質な手口」が6.6ポイント増加している。

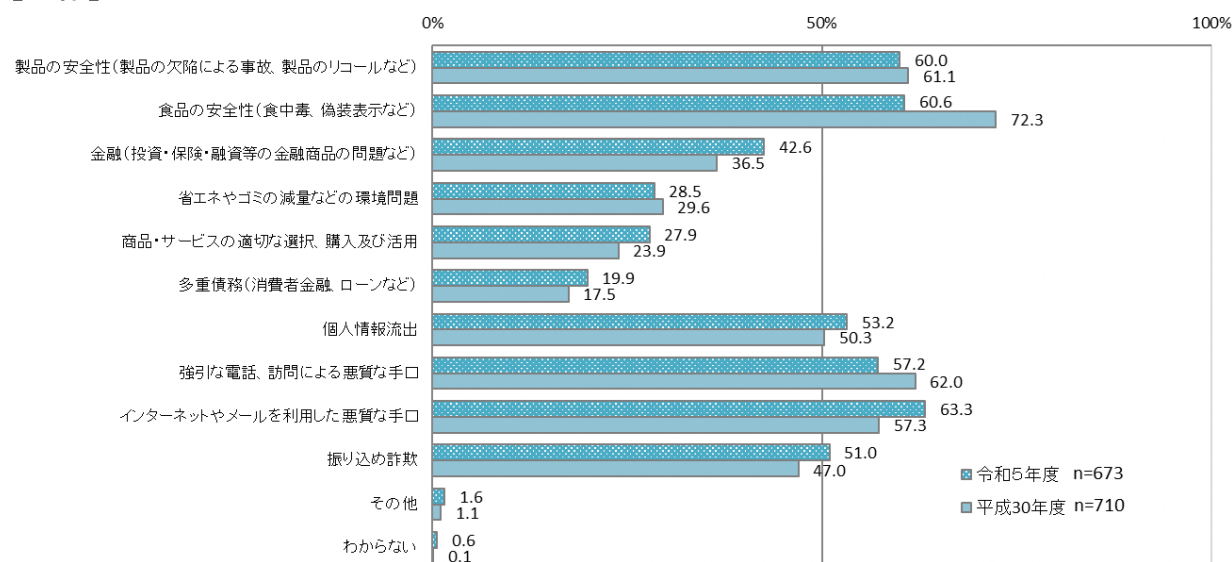
年齢別では、18~19歳、30~64歳では「インターネットやメールを利用した悪質な手口」が最も割合が高くなっている。18~19歳では、同率で「製品の安全性(製品の欠陥による事故、製品のリコールなど)」「振り込め詐欺」が高くなっている。

前回調査(30年度)と比較すると、75歳以上では、「個人情報流出」が29.1ポイント増加し、半数を超えている。

地区別では、中部地区で「製品の安全性(製品の欠陥による事故、製品のリコールなど)」が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、中部地区で「金融(投資・保険・融資等の金融商品の問題など)」が10ポイント以上増加している。

#### 【全体】



## 【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)											
		インターネット やメールを利用 した悪質な 手口	食品の安全性 (食中毒、偽 装表示など)	製品の安全性 (製品の欠陥 による事故、 製品のリコ ールなど)	強引な電話、 訪問による悪 質な手口	個人情報流出	振り込み詐欺	金融(投資・保 険・融資等の 金融商品の問 題など)	省エネやゴミ の減量などの 環境問題	商品・サー ビスの適切 な選択、購 入及び活用	多重債務 (消費者金 融、ローン など)	その他	わからない
全体	673	63.3	60.6	60.0	57.2	53.2	51.0	42.6	28.5	27.9	19.9	1.6	0.6
性別													
男性	263	66.2	58.9	63.1	55.5	50.6	56.3	48.7	23.2	24.3	22.4	2.3	0.0
女性	385	62.1	62.1	57.9	57.7	56.4	47.3	38.4	32.2	30.1	18.2	1.3	1.0
その他(回答したくない)	8	50.0	75.0	50.0	50.0	50.0	37.5	50.0	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0
年齢別													
18～19歳	8	62.5	50.0	62.5	37.5	50.0	62.5	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5
20～29歳	40	65.0	55.0	67.5	42.5	72.5	35.0	47.5	22.5	27.5	25.0	0.0	2.5
30～39歳	70	67.1	55.7	62.9	45.7	55.7	41.4	44.3	22.9	38.6	24.3	4.3	0.0
40～49歳	98	73.5	61.2	60.2	50.0	53.1	48.0	48.0	24.5	27.6	28.6	1.0	1.0
50～59歳	139	75.5	54.7	59.0	61.9	54.7	46.8	48.9	27.3	32.4	21.6	1.4	0.7
60～64歳	79	72.2	54.4	57.0	63.3	41.8	51.9	44.3	26.6	31.6	12.7	0.0	0.0
65～69歳	88	63.6	69.3	62.5	73.9	56.8	53.4	40.9	34.1	30.7	20.5	2.3	0.0
70～74歳	114	40.4	63.2	54.4	57.9	48.2	64.0	35.1	34.2	15.8	14.0	2.6	0.0
75歳以上	37	32.4	83.8	67.6	45.9	54.1	59.5	24.3	35.1	21.6	10.8	0.0	0.0
地区別													
東部地区	278	62.9	59.7	56.1	55.4	51.1	51.8	42.4	29.9	26.3	21.2	1.8	0.4
中部地区	125	64.8	59.2	67.2	64.8	53.6	52.0	49.6	25.6	30.4	25.6	1.6	0.8
西部地区	270	63.0	62.2	60.7	55.6	55.2	49.6	39.6	28.5	28.5	15.9	1.5	0.7

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)											
		インターネット やメールを利用 した悪質な 手口	食品の安全性 (食中毒、偽 装表示など)	製品の安全性 (製品の欠陥 による事故、 製品のリコ ールなど)	強引な電話、 訪問による悪 質な手口	個人情報流出	振り込み詐欺	金融(投資・保 険・融資等の 金融商品の問 題など)	省エネやゴミ の減量などの 環境問題	商品・サー ビスの適切 な選択、購 入及び活用	多重債務 (消費者金 融、ローン など)	その他	わからない
全体	710	57.3	72.3	61.1	62.0	50.3	47.0	36.5	29.6	23.9	17.5	1.1	0.1
性別													
男性	277	60.3	68.2	62.5	57.8	43.7	45.8	42.2	24.5	23.1	19.5	2.2	0.4
女性	425	55.5	75.3	60.2	64.2	54.4	47.8	32.9	33.2	24.7	15.8	0.5	0.0
年齢別													
20～29歳	56	73.2	62.5	51.8	41.1	55.4	26.8	33.9	14.3	26.8	17.9	0.0	0.0
30～39歳	57	89.5	64.9	54.4	61.4	66.7	52.6	47.4	14.0	26.3	24.6	0.0	0.0
40～49歳	86	84.9	70.9	65.1	57.0	52.3	44.2	37.2	29.1	22.1	25.6	2.3	0.0
50～59歳	116	68.1	77.6	66.4	63.8	50.9	52.6	42.2	31.9	30.2	22.4	1.7	0.9
60～64歳	113	53.1	70.8	61.9	62.8	48.7	46.0	31.9	30.1	23.0	13.3	1.8	0.0
65～69歳	133	41.4	79.7	63.9	72.2	47.4	52.6	38.3	36.1	24.1	15.0	0.0	0.0
70～74歳	121	33.9	71.9	57.9	62.0	46.3	44.6	33.9	35.5	21.5	10.7	1.7	0.0
75歳以上	24	20.8	62.5	58.3	54.2	25.0	45.8	8.3	25.0	4.2	8.3	0.0	0.0
地区別													
東部地区	239	59.0	74.1	59.4	66.5	52.7	50.6	39.7	28.9	24.3	18.4	1.7	0.0
中部地区	138	58.7	71.0	65.2	65.2	50.0	48.6	36.2	27.5	30.4	25.4	0.0	0.0
西部地区	329	55.6	71.7	60.8	56.8	48.0	43.5	34.0	31.0	21.0	13.1	1.2	0.3

#### (4) (関心がない場合) 消費者問題に関心がない理由

【問 16-3】

全体では「今までに学んだり考えたりする機会がなかったから」(46.0%)が最も割合が高く、次いで「自分にとって身近な問題ではないと思うから」(37.2%)、「自分が被害にあうことはないと思うから」(23.2%)と続いている。

前回調査(30年度)と比較すると、「今までに学んだり考えたりする機会がなかったから」が増加し、「自分にとって身近な問題ではないと思うから」が減少している。

性別では、男女ともに「今までに学んだり考えたりする機会がなかったから」が最も割合が高く、男性では「自分にとって身近な問題ではないと思うから」が同率となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、男女ともに「今までに学んだり考えたりする機会がなかったから」が増加している。

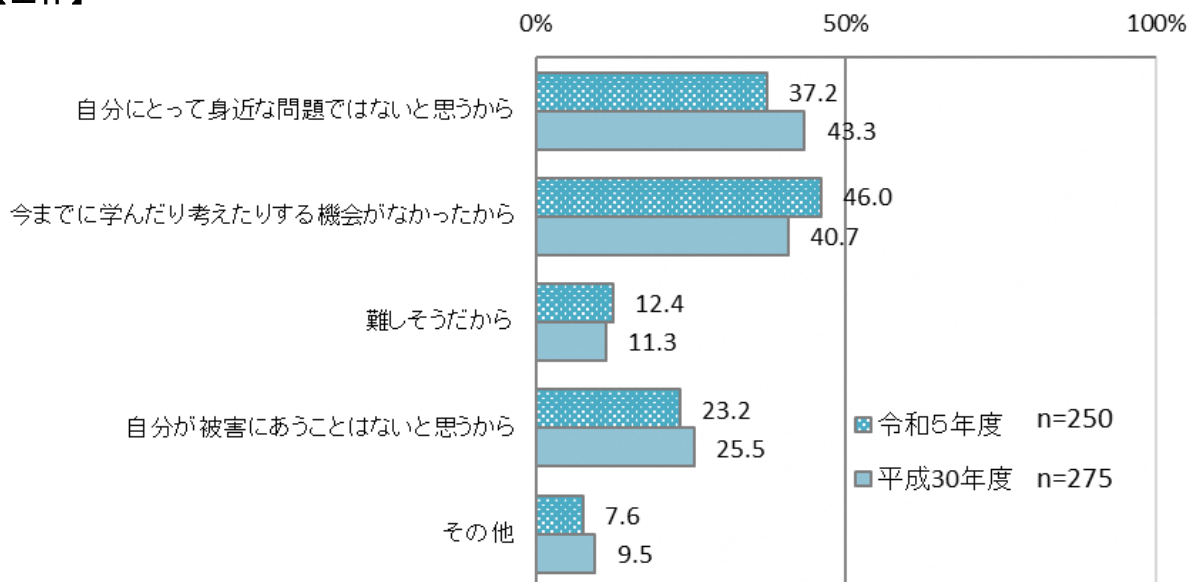
年齢別では、64歳以下では「今までに学んだり考えたりする機会がなかったから」が最も高く、65～69歳、75歳以上では「自分にとって身近な問題ではないと思うから」が高くなっている。

前回調査(30年度)と比較すると、40～50歳代で「今までに学んだり考えたりする機会がなかったから」が、30歳代で「自分が被害にあうことはないと思うから」が10ポイント以上減少している。

地区別では、東部地区で「今までに学んだり考えたりする機会がなかったから」が他の地区に比べて高い。

前回調査(30年度)と比較すると、東部地区で「今までに学んだり考えたりする機会がなかったから」が15.2ポイント増加している。

#### 【全体】



【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)					
		いままでに学んだり考えたりする機会がなかったから	自分にとって身近な問題ではないと思うから	自分が被害にあうことはないと思うから	難しそうだから	その他	
全体	250	46.0	37.2	23.2	12.4	7.6	
性別	男性	127	44.1	44.1	26.8	8.7	7.1
	女性	117	47.9	29.9	20.5	16.2	7.7
	その他・回答したくない	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
年齢別	18～19歳	6	66.7	33.3	0.0	50.0	0.0
	20～29歳	31	54.8	25.8	16.1	12.9	12.9
	30～39歳	39	46.2	46.2	12.8	15.4	5.1
	40～49歳	37	56.8	37.8	13.5	16.2	10.8
	50～59歳	42	50.0	31.0	26.2	9.5	4.8
	60～64歳	19	31.6	26.3	15.8	15.8	26.3
	65～69歳	30	36.7	43.3	26.7	6.7	3.3
	70～74歳	36	36.1	44.4	50.0	5.6	2.8
75歳以上	9	33.3	44.4	33.3	11.1	0.0	
地区別	東部地区	93	54.8	31.2	18.3	11.8	6.5
	中部地区	43	39.5	37.2	37.2	11.6	11.6
	西部地区	112	41.1	42.9	22.3	13.4	6.3

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)					
		いままでに学んだり考えたりする機会がなかったから	自分にとって身近な問題ではないと思うから	自分が被害にあうことはないと思うから	難しそうだから	その他	
全体	275	40.7	43.3	25.5	11.3	9.5	
性別	男性	128	36.7	48.4	29.7	6.3	9.4
	女性	142	43.0	39.4	21.1	16.2	9.9
年齢別	20～29歳	40	42.5	35.0	5.0	32.5	7.5
	30～39歳	50	44.0	36.0	24.0	10.0	16.0
	40～49歳	48	45.8	45.8	16.7	8.3	8.3
	50～59歳	34	38.2	44.1	32.4	2.9	8.8
	60～64歳	28	42.9	46.4	17.9	7.1	10.7
	65～69歳	34	29.4	52.9	50.0	5.9	5.9
	70～74歳	35	37.1	45.7	37.1	11.4	8.6
75歳以上	6	50.0	50.0	33.3	0.0	0.0	
地区別	東部地区	111	39.6	41.4	25.2	8.1	12.6
	中部地区	52	46.2	34.6	23.1	15.4	7.7
	西部地区	111	39.6	49.5	27.0	11.7	7.2

## (5) (関心がない、どちらともいえない場合)話を聞いてみたり、講座へ参加したりしてみたいと思う消費者問題

### 【問 16-4】

全体では「インターネットやメールを利用した悪質な手口」(32.0%)が最も割合が高く、次いで、「食品の安全性(食中毒、偽装表示など)」(31.1%)、「どんなテーマでも話を聞いたり、講座へ参加したりしてみたいとは思わない」(25.6%)と続いている。

前回調査(30年度)と比較すると、「個人情報流出」が特に増加している。

性別では、男女ともに「インターネットやメールを利用した悪質な手口」が最も割合が高く、女性では同率で「食品の安全性(食中毒、偽装表示など)」が最も高くなっている。

前回調査(30年度)と比較すると、男女ともに「個人情報流出」が特に増加している。

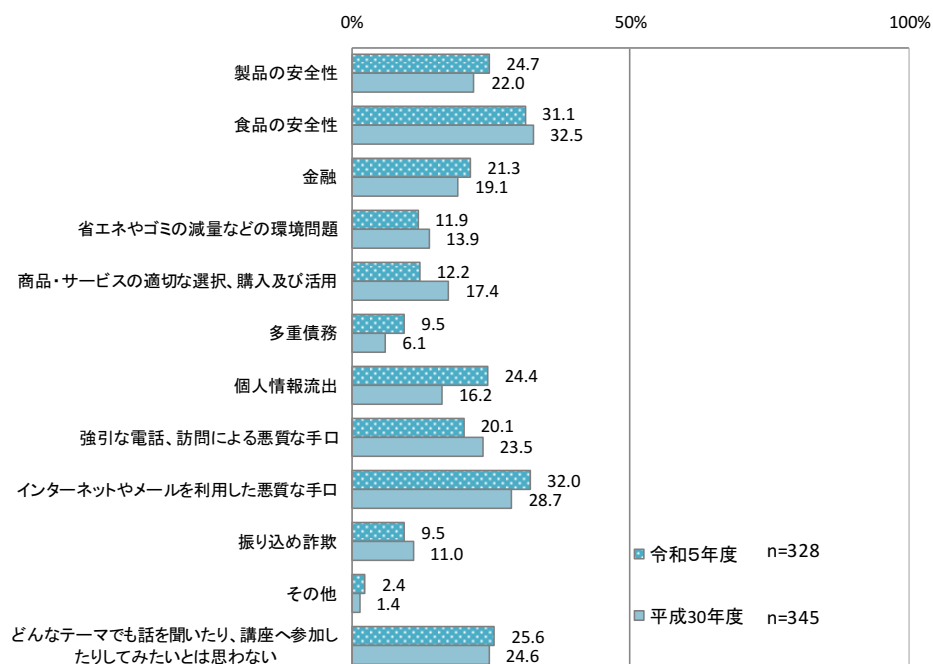
年齢別では、18~19歳、40歳代、50歳代では「インターネットやメールを利用した悪質な手口」が、20歳代、65~69歳、70~74歳では「食品の安全性(食中毒、偽装表示など)」が、65~69歳は同率で「金融」、70~74歳は同率で「製品の安全性(製品の欠陥による事故、製品のリコールなど)」が最も高い。また、30歳代と75歳以上については、「どんなテーマでも話を聞いたり、講座へ参加したりしてみたいとは思わない」が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、50歳代、65~69歳で「インターネットやメールを利用した悪質な手口」が増加している。

地区別では、東部地区では「どんなテーマでも話を聞いたり、講座へ参加してみたいとは思わない」が他の地区に比べて高い割合となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、中部地区では「どんなテーマでも話を聞いたり、講座へ参加したりしてみたいとは思わない」が、西部地区では「個人情報流出」が10ポイント以上増加している。

### 【全体】



## 【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)											
		インターネットやメールを利用した悪質な手口	食品の安全性(食中毒、偽装表示など)	どんなテーマでも話を聞いたり、講座へ参加したりしてみたいとは思わない	製品の安全性(製品の欠陥による事故、製品のリコールなど)	個人情報流出	金融(投資・保険・融資等の金融商品の問題など)	強引な電話、訪問による悪質な手口	商品・サービスの適切な選択、購入及び活用	省エネやゴミの減量などの環境問題	多重債務(消費者金融、ローンなど)	振り込め詐欺	その他
全体	328	32.0	31.1	25.6	24.7	24.4	21.3	20.1	12.2	11.9	9.5	9.5	2.4
性別													
男性	166	33.1	29.5	25.9	25.9	22.9	24.1	19.3	13.3	10.8	10.8	11.4	3.6
女性	152	31.6	31.6	25.7	23.0	27.0	18.4	21.1	9.9	13.8	8.6	7.2	1.3
その他・回答したくない	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0
年齢別													
18～19歳	11	54.5	9.1	18.2	0.0	36.4	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0
20～29歳	41	24.4	29.3	22.0	24.4	26.8	22.0	19.5	14.6	9.8	14.6	2.4	7.3
30～39歳	48	29.2	31.3	35.4	18.8	27.1	22.9	16.7	12.5	4.2	16.7	8.3	0.0
40～49歳	51	33.3	29.4	29.4	23.5	21.6	19.6	15.7	9.8	9.8	5.9	9.8	2.0
50～59歳	56	48.2	30.4	17.9	23.2	25.0	23.2	26.8	14.3	8.9	14.3	7.1	7.1
60～64歳	31	22.6	29.0	29.0	35.5	19.4	9.7	16.1	19.4	9.7	0.0	12.9	0.0
65～69歳	35	31.4	37.1	17.1	22.9	17.1	37.1	22.9	17.1	25.7	5.7	14.3	0.0
70～74歳	45	22.2	40.0	26.7	40.0	33.3	20.0	24.4	6.7	22.2	6.7	13.3	0.0
75歳以上	10	30.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
地区別													
東部地区	137	36.5	29.9	21.9	23.4	22.6	21.9	26.3	11.7	11.7	8.0	9.5	2.2
中部地区	50	32.0	24.0	36.0	24.0	20.0	26.0	22.0	12.0	8.0	16.0	8.0	4.0
西部地区	140	27.9	35.0	25.0	26.4	27.9	19.3	13.6	12.9	13.6	8.6	10.0	2.1

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)											
		インターネットやメールを利用した悪質な手口	食品の安全性(食中毒、偽装表示など)	どんなテーマでも話を聞いたり、講座へ参加したりしてみたいとは思わない	製品の安全性(製品の欠陥による事故、製品のリコールなど)	個人情報流出	金融(投資・保険・融資等の金融商品の問題など)	強引な電話、訪問による悪質な手口	商品・サービスの適切な選択、購入及び活用	省エネやゴミの減量などの環境問題	多重債務(消費者金融、ローンなど)	振り込め詐欺	その他
全体	345	28.7	32.5	24.6	22.0	16.2	19.1	23.5	17.4	13.9	6.1	11.0	1.4
性別													
男性	153	30.1	24.8	29.4	26.1	15.0	20.9	18.3	17.6	8.5	7.2	13.1	2.0
女性	187	27.8	37.4	21.4	17.6	17.1	17.1	27.8	16.6	18.2	4.8	9.6	1.1
年齢別													
20～29歳	44	47.7	18.2	18.2	18.2	27.3	27.3	18.2	34.1	6.8	13.6	9.1	0.0
30～39歳	55	23.6	27.3	30.9	18.2	21.8	30.9	18.2	12.7	5.5	7.3	9.1	0.0
40～49歳	54	35.2	31.5	24.1	25.9	22.2	20.4	20.4	16.7	14.8	9.3	9.3	0.0
50～59歳	49	32.7	30.6	24.5	16.3	10.2	14.3	30.6	20.4	12.2	8.2	12.2	4.1
60～64歳	41	34.1	29.3	22.0	29.3	14.6	17.1	19.5	7.3	9.8	0.0	12.2	2.4
65～69歳	51	13.7	33.3	31.4	17.6	7.8	7.8	21.6	15.7	23.5	3.9	13.7	3.9
70～74歳	42	16.7	50.0	23.8	26.2	9.5	14.3	23.8	9.5	21.4	0.0	9.5	0.0
75歳以上	8	25.0	75.0	0.0	37.5	12.5	12.5	87.5	37.5	37.5	0.0	25.0	0.0
地区別													
東部地区	134	27.6	29.1	32.1	20.1	14.9	12.7	20.1	14.9	11.9	7.5	6.7	0.7
中部地区	69	37.7	31.9	20.3	23.2	17.4	26.1	27.5	18.8	13.0	5.8	20.3	0.0
西部地区	140	25.0	35.0	20.0	22.9	16.4	21.4	24.3	18.6	16.4	5.0	10.7	2.9



## 6. 消費者教育について

### (1) 消費者教育に関する出前講座等への参加経験

【問 17】

全体では「実施されていることを知らない」(68.4%)が最も割合が高く、次いで「実施されていることは知っていたが、参加したことはない」(26.7%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「参加したことがある」「実施されていることは知っていたが、参加したことはない」が減少し、「実施されていることを知らない」が増加している。

性別では、男女ともに「実施されていることを知らない」が最も割合が高く6割以上となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、男女ともに「実施されていることを知らない」が増加している。

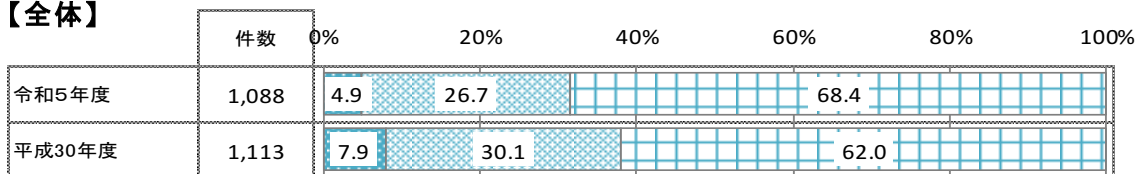
年齢別では、40歳代以下で「実施されていることを知らない」が7割以上と高く、年齢が高くなるにしたがって認知度が高くなっている。

前回調査(30年度)と比較すると、50歳代で「参加したことがある」が増加している。

地区別では、東部地区で「実施されていることを知らない」が他の地区と比べて高い。

前回調査(30年度)と比較すると、全ての地区で「実施されていることを知らない」が増加している。

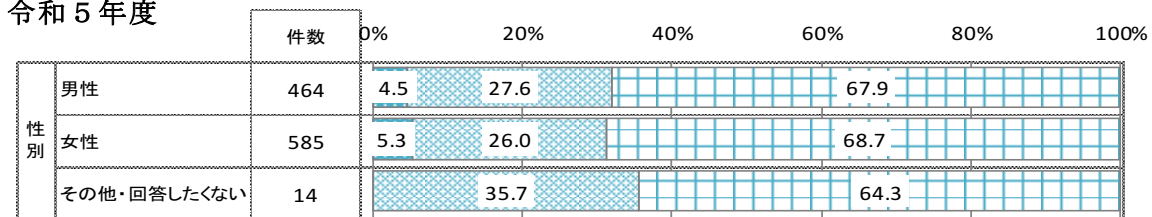
#### 【全体】



- 参加したことがある
- 実施されていることは知っていたが、参加したことはない
- 実施されていることを知らない

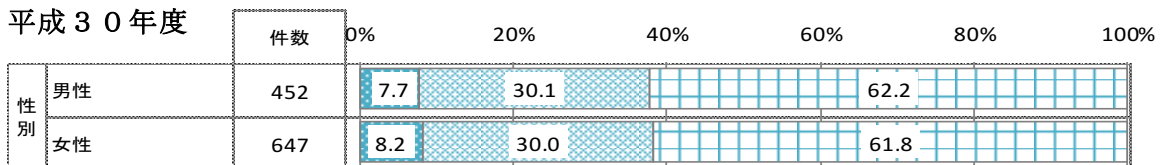
#### 【性別】

##### 令和5年度



- 参加したことがある
- 実施されていることは知っていたが、参加したことはない
- 実施されていることを知らない

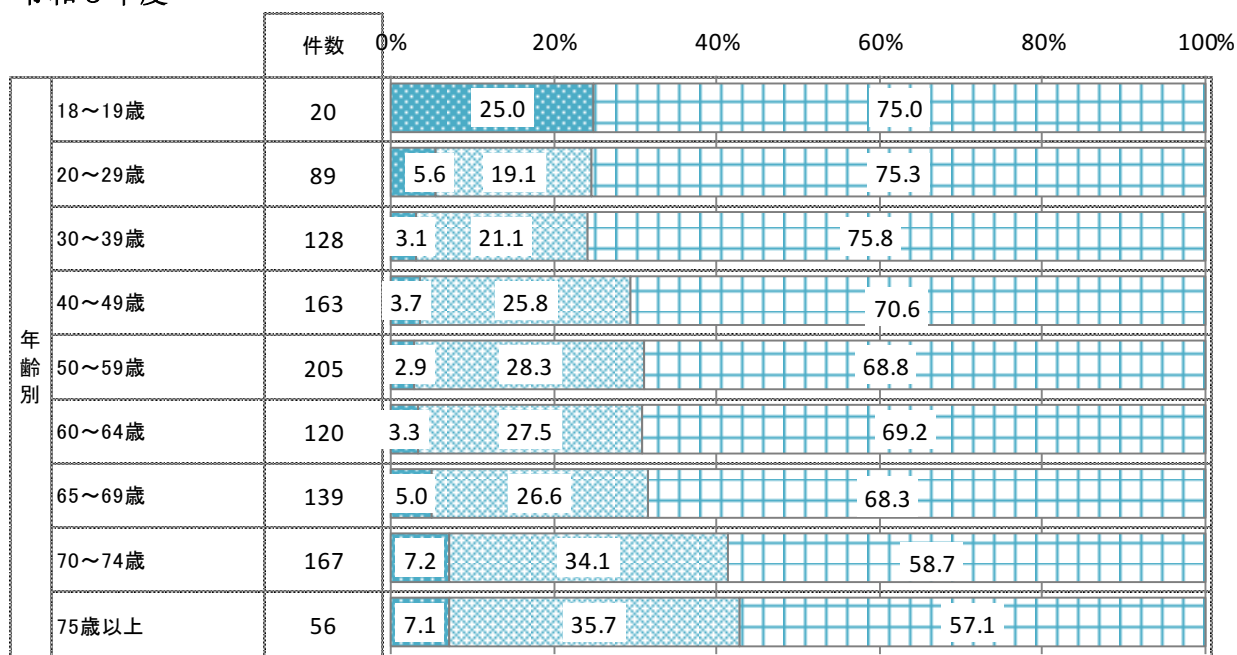
##### 平成30年度



- 参加したことがある
- 実施されていることは知っていたが、参加したことはない
- 実施されていることを知らない

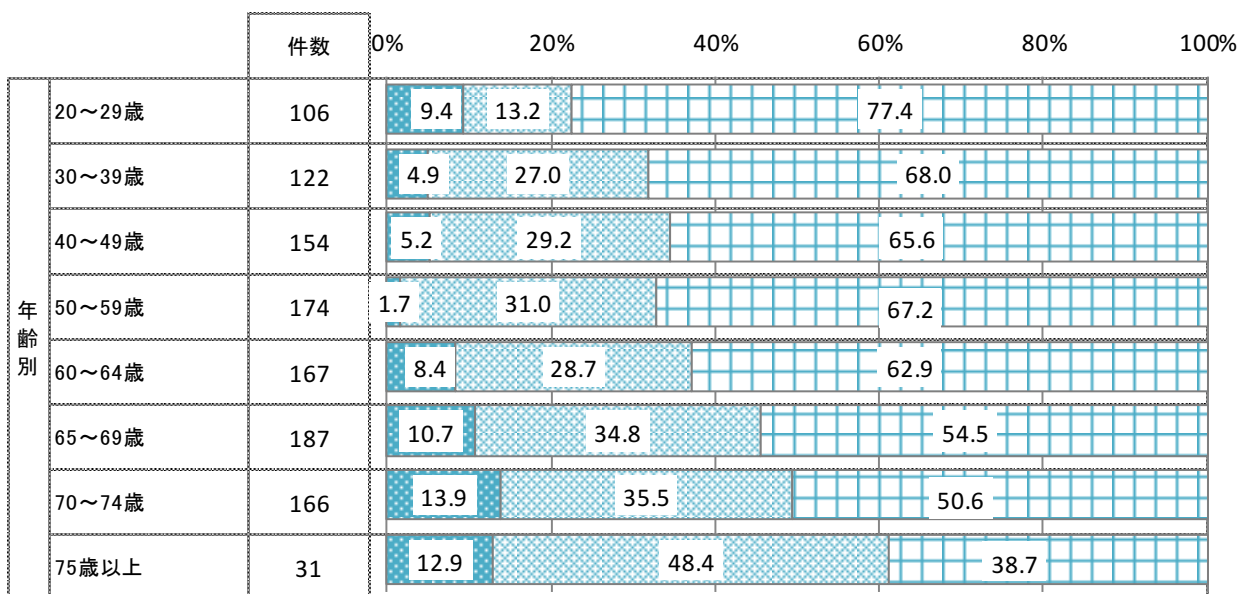
### 【年齢別】

令和5年度



- 参加したことがある
- 実施されていることは知っていたが、参加したことはない
- 実施されていることを知らない

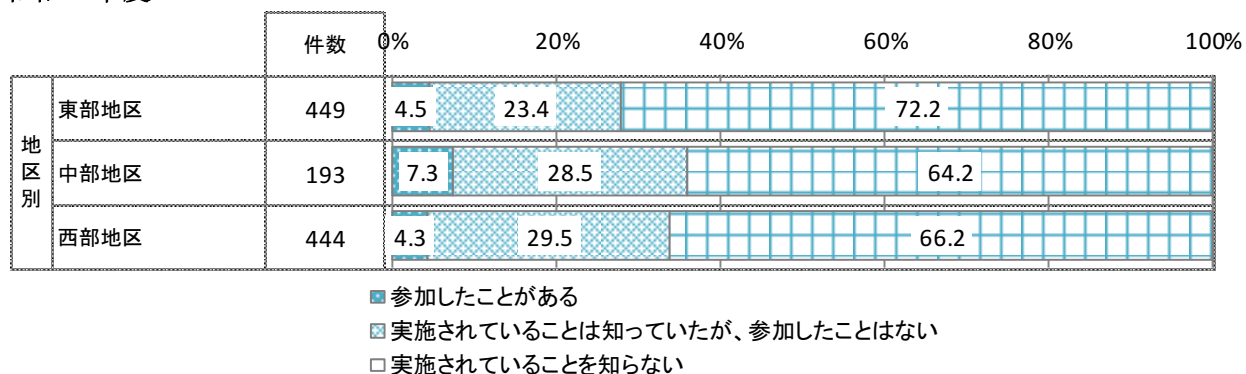
平成30年度



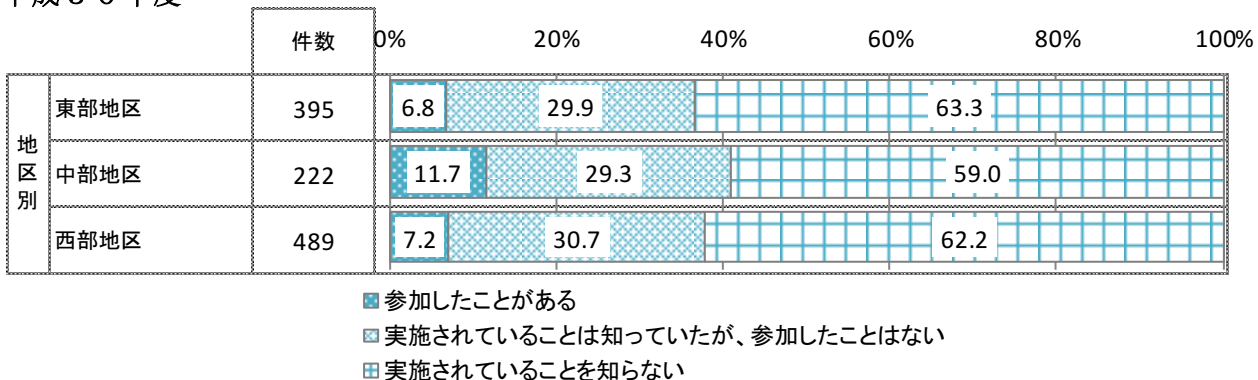
- 参加したことがある
- 実施されていることは知っていたが、参加したことはない
- 実施されていることを知らない

## 【地区別】

令和5年度



平成30年度



## (2)実施されていることを知っていて参加しなかった理由

### 【問 17-1】

全体では「日程が合わない」(45.6%)が最も割合が高く、次いで「忙しく時間がない」(35.1%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「参加するのがめんどろだった」が特に増加している。

性別では、男女ともに「日程が合わない」が最も割合が高い。また「日程が合わない」「忙しくて時間がない」は女性が男性を、「参加するのがめんどろだった」「参加しても有益な情報を得られるとは思えない」は男性が女性を約10ポイント上回った。

前回調査(30年度)と比較すると、男女ともに「参加するのが面倒だった」が特に増加している。

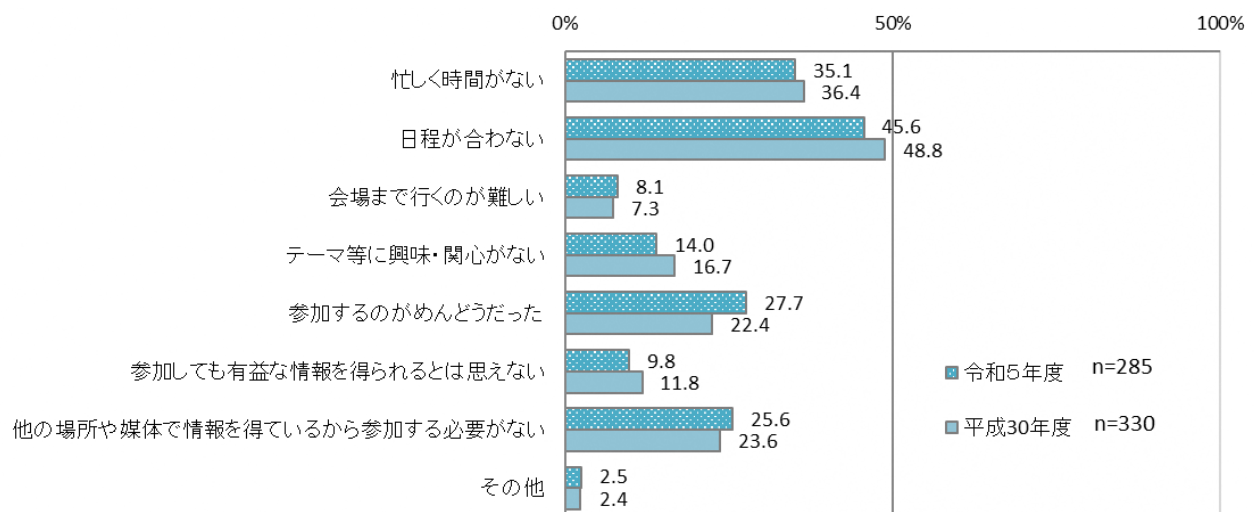
年齢別では、40歳代以下では「忙しくて時間がない」が、50歳以上では「日程が合わない」が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、20歳代では「参加するのがめんどろだった」「他の場所や媒体で情報を得ているから参加する必要がない」「テーマ等に興味・関心がない」が、75歳以上では「日程が合わない」が20ポイント以上増加している。

地区別では、東部地区で「日程が合わない」が特に高い。

前回調査(30年度)と比較すると、中部地区では「他の場所や媒体で情報を得ているから参加する必要がない」が19.5ポイント増加している。

### 【全体】



【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)								
		日程が合わない	忙しく時間がない	参加するのがめんどうだった	他の場所や媒体で情報を得ているから参加する必要がない	テーマ等に興味・関心がない	参加しても有益な情報を得られるとは思えない	会場まで行くのが難しい	その他	
全体	285	45.6	35.1	27.7	25.6	14.0	9.8	8.1	2.5	
性別	男性	128	39.8	29.7	33.6	29.7	14.8	15.6	7.0	3.1
	女性	147	50.3	39.5	23.1	22.4	14.3	4.8	7.5	2.0
	その他・回答したくない	5	40.0	40.0	40.0	40.0	0.0	20.0	40.0	0.0
年齢別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	17	23.5	41.2	35.3	35.3	29.4	17.6	17.6	11.8
	30～39歳	26	34.6	42.3	34.6	23.1	23.1	15.4	0.0	0.0
	40～49歳	42	40.5	52.4	33.3	19.0	11.9	7.1	9.5	0.0
	50～59歳	57	61.4	40.4	21.1	24.6	10.5	5.3	3.5	1.8
	60～64歳	33	45.5	36.4	27.3	24.2	3.0	9.1	3.0	6.1
	65～69歳	37	40.5	21.6	32.4	32.4	10.8	16.2	8.1	0.0
	70～74歳	55	49.1	23.6	23.6	27.3	18.2	9.1	12.7	0.0
75歳以上	18	44.4	22.2	22.2	22.2	16.7	5.6	16.7	11.1	
地区別	東部地区	101	49.5	36.6	27.7	21.8	13.9	13.9	9.9	2.0
	中部地区	54	40.7	29.6	22.2	24.1	9.3	11.1	9.3	1.9
	西部地区	130	44.6	36.2	30.0	29.2	16.2	6.2	6.2	3.1

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)								
		日程が合わない	忙しく時間がない	他の場所や媒体で情報を得ているから参加する必要がない	参加するのがめんどうだった	テーマ等に興味・関心がない	参加しても有益な情報を得られるとは思えない	会場まで行くのが難しい	その他	
全体	330	48.8	36.4	23.6	22.4	16.7	11.8	7.3	2.4	
性別	男性	133	46.6	31.6	27.8	27.8	21.1	16.5	7.5	2.3
	女性	192	50.5	40.1	20.8	18.8	13.5	8.9	6.8	2.6
年齢別	20～29歳	14	42.9	64.3	14.3	0.0	0.0	7.1	21.4	7.1
	30～39歳	32	40.6	31.3	25.0	21.9	31.3	15.6	0.0	0.0
	40～49歳	45	51.1	48.9	17.8	20.0	13.3	13.3	0.0	4.4
	50～59歳	53	62.3	47.2	18.9	22.6	13.2	9.4	7.5	3.8
	60～64歳	48	58.3	41.7	20.8	20.8	20.8	8.3	4.2	0.0
	65～69歳	65	43.1	26.2	30.8	29.2	12.3	16.9	6.2	1.5
	70～74歳	56	50.0	23.2	28.8	17.9	23.2	10.7	12.5	1.8
75歳以上	15	13.3	20.0	33.3	40.0	6.7	6.7	20.0	6.7	
地区別	東部地区	115	48.7	32.2	22.6	23.5	13.9	13.9	5.2	3.5
	中部地区	65	55.4	40.0	4.6	20.0	18.5	10.8	12.3	4.6
	西部地区	148	46.6	37.8	33.1	22.3	18.2	10.8	6.1	0.7